

# 小樽

探 究 & 未 来

## プログラム

〈教育旅行用 ワークシート / ガイドブック〉

SDGs

まちづくり



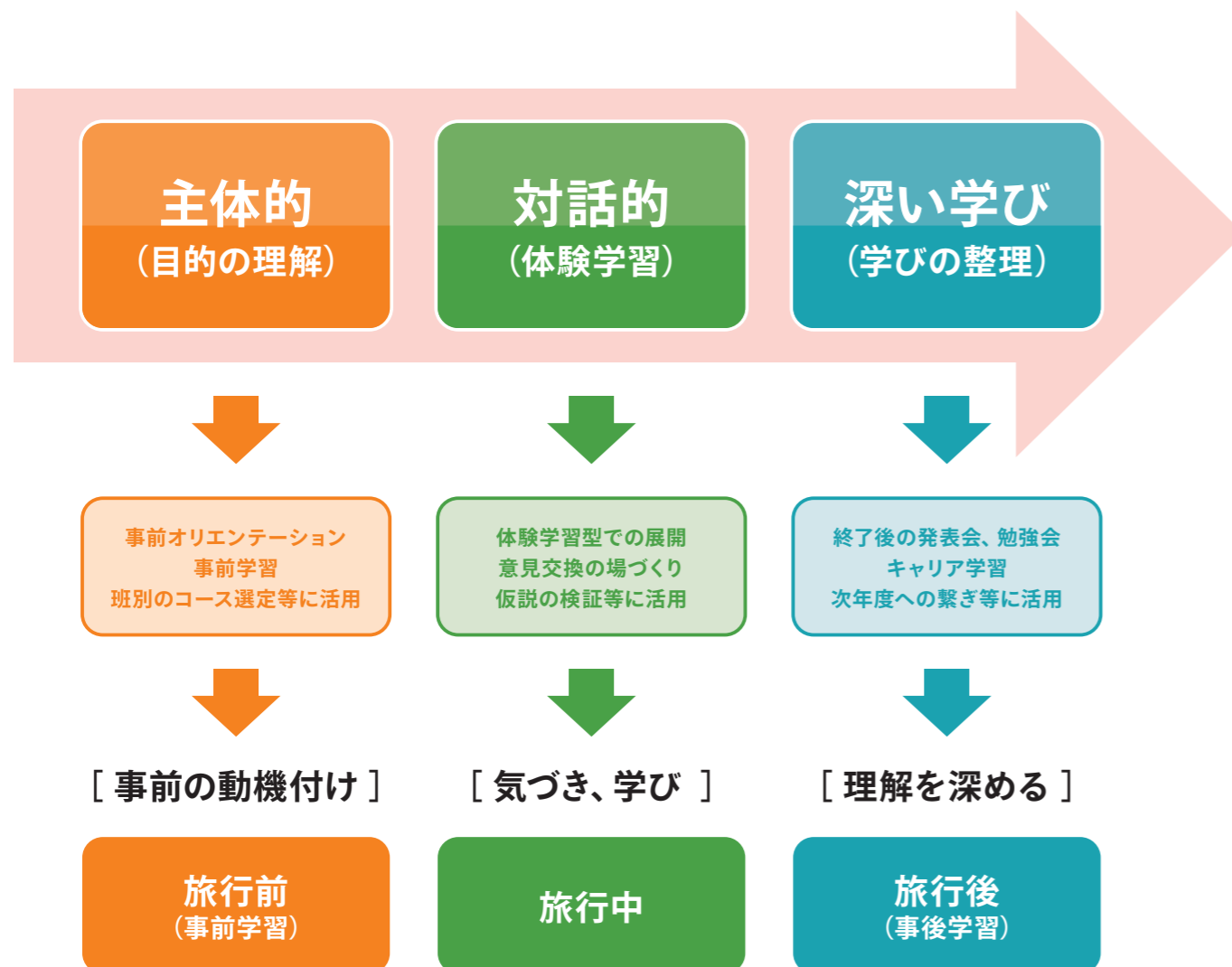
一般社団法人 小樽観光協会

(監修: 日本旅行北海道 小樽支店)

# 小樽探究プログラムは 主体的・対話的で深い学びへ繋がります

研修旅行は学校の外の世界を学ぶ絶好の機会です。

- 小樽探究プログラムは学習指導要領に定められた「主体的、対話的、深い学び」のアクティブラーニングの視点で製作しております。
- 観光施設・宿泊施設情報も掲載しておりますので、合わせて御校の教育活動に是非お役立てください。



# 2030年社会の主役となっている 学生の皆さんへミッション!

“貧困・紛争・テロ・気候変動・資源の枯渇” etc...

人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。

このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなってしまうと言われています。

そんな危機感から、世界中の様々な立場の人々が話し合い、課題を整理し解決方法を考え、

国連加盟193カ国が、2016年～2030年までに達成すべき具体的な目標をたてました。

それが…「**持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) = SDGs**」です!

SDGsは、「持続可能な世界」を実現するためのいわば“ナビ”のようなものです。

人類はいま、そのナビが示す方向に進めているだろうか? そしてあなた自身はどうだろうか?

様々な社会の課題とSDGsとのつながりを知り、

「持続可能な世界を築くためには、何をしたらいいのか。

また、将来自分はどのように目標達成に貢献できるだろうか。」

それを考えることが、2030年の世界で主役となって活躍している現役学生の皆さんに

課せられたミッションなのです。



- ◆ 2015年に国連で採択された「2030年までの達成をめざす“17”の目標」
- ◆ 国際機関、政府、企業、学術機関、市民社会、子どもも含めた全ての人が、それぞれの立場から目標達成のために行動することが求められている
- ◆ キーワードは「誰ひとり取り残さない」

## 持続可能な世界を実現するための17のゴール!



はじめに  
研修旅行の  
目的を知ろう

研修旅行の目標

研修旅行に行く前に、この研修旅行で何を学ぶか、どのような視点で学ぶかをはっきりさせておきましょう

introduction

第1章  
事前学習を  
しよう

自分たちのまちと  
小樽について  
知ろう

自分たちのまちを持続可能なまちにするために、自分たちのまちについて理解を深めましょう。また、小樽の経済・社会・環境についても知りましょう

01

第2章  
研修旅行を  
デザインしよう

研修旅行の  
準備をしよう

小樽の持続可能なまちづくりのポイントを知るために、研修旅行の準備をしましょう。研修旅行の行先やスケジュールを決め、事前の調査も行いましょう

02

第3章  
小樽を  
探究しよう

小樽のまちを  
探究しよう

いよいよこれから小樽のまちを実際に歩きます。まち歩きをするときに、今回は3つのテーマと1つの番外編に従って、探究を行います

03

第4章  
アイデアを考え  
発表しよう

自分たちのまちで  
生かせそうな  
アイデアを  
発表しよう

研修旅行から帰ってきました。小樽で学んだことを自分のまちに活かすようなアイデアを考えて発表しましょう

04

目次

P.04 目次  
P.05 今回の研修旅行の目的を知ろう  
今回の研修旅行の目的  
P.06 今回の研修旅行のアウトプット  
P.07 学習の流れ

---

P.08 **第1章 自分たちのまちと小樽について知ろう**  
●自分たちのまちについて知ろう  
・自分たちのまちの概要ワークシート  
・自分たちのまちのバランスシート①②  
P.11 ●小樽の基礎知識

---

P.17 **第2章 研修旅行の準備をしよう**  
●自分たちの研修旅行をデザインしよう  
・研修旅行デザインシート  
・事前調査ワークシート

---

P.20 **第3章 小樽のまちを探究しよう**  
●小樽で探究しよう  
・探究テーマ一覧  
P.21 ●昔ながらの小樽のまち並みを、  
今も維持できている秘訣とは？  
・インタビューメモ  
・探究ワークシート①②  
P.25 ●小樽のものづくり・伝統産業が、誰にでも  
親しまれるよう、どんな工夫がなされているのか？  
・インタビューメモ  
・探究ワークシート①②  
P.29 ●旅行者に、より観光を楽しんでもらうために  
している取り組みとは？  
・インタビューメモ  
・探究ワークシート①②  
P.33 ●小樽の店舗が、地元の小樽や周辺市町村の人たち  
からも愛されるように取り組んでいることは？  
・インタビューメモ  
・探究ワークシート①②

---

P.37 **第4章 自分たちのまちで活かせるようなアイデアを  
発表しよう**  
●自分たちのまちで活かせるようなアイデアを考えよう  
・振り返りワークシート  
・アイデアワークシート  
P.41 ●発表しよう

---

P.43 参考文献一覧  
P.44 小樽教育旅行体験プログラム&  
教育旅行受入宿泊施設  
P.47 小樽地図  
P.51 乗る  
P.53 学ぶ  
P.57 創る  
P.59 動く  
P.61 集う  
P.64 泊る  
P.68 日本遺産を活用した小樽教育旅行モデルコース

# 今回の研修旅行の目的を知らう

研修旅行に行く前に、この研修旅行で何を学ぶか、どのような視点で学ぶかをはっきりさせておきましょう。

## 今回の研修旅行の目的

### 小樽の持続可能なまちづくりについて知らう！

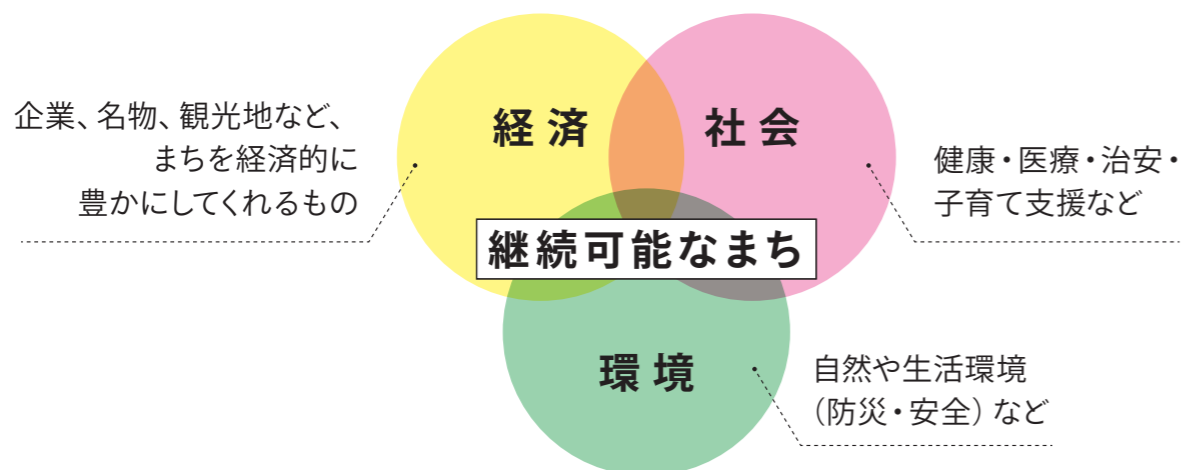
小樽は江戸後期から明治、大正、昭和の初期にかけて大発展を遂げました。この時期の歴史遺産が、今の小樽の観光資源として中心的な役割を果たし、コロナ前では国内外で年間約800万人の観光客を受け入れています。

小樽はガイドブックに登場するような観光スポットとしておなじみの場所がたくさん登場します。

今回の研修旅行の目的は「小樽の持続可能なまちづくりに触れる」です。提示された探究テーマに沿ってまちを歩きながら探究し、小樽の持続可能なまちづくりのポイントを探します。そのポイントをも自分のまちにも取り入れて活用出来るようなアイデアを考えてみましょう。

### 「持続可能なまち」とは？

例えば経済的に豊かになり、たくさんの人であふれかえるまちになったとしても、その結果自然が破壊されてしまったら「持続可能」とは言えません。逆に、自然保護に終始するあまり、暮らしにくいまちになってしまったり、治安が悪くなってしまっても「持続可能」とは言えません。そこで、今回はまちの「経済」「社会」「環境」に注目し、それらのバランスが取れているまちが「持続可能」であるとして探究することにします。



# 今回の研修旅行のアウトプット

## 自分たちのまちを持続可能なまちにしていくためのアイデア

今回の研修旅行では、小樽のまちの探究を通じて、自分たちのまちを持続可能にしていくアイデアを考えます。

「このような取り組みをすれば、自分たちのまちを持続可能になる」「自分たちのまちを持続可能にするために、このような企画をしたい」というように、自分たちのまちを持続可能にするためのアイデアをまとめ、研修旅行後に発表会をします。

研修旅行に行く前に、以下のことを行いましょう。

### 01 自分たちのまちを知る

自分たちのまちを持続可能にするために、自分たちのまちがどんなまちかを「経済」「社会」「環境」の3つの軸で整理しましょう。

### 02 小樽のまちについて知る

小樽のまちがどのようなまちなのか予習しましょう。

### 03 旅行プランを考える

小樽のまちのどこで、どのようなことを探究したいか考え、自分たちの旅行プランを考えましょう。



## 学習の流れ

### 01 自分たちのまちと 小樽について 知ろう

自分たちのまちを持続可能にするために、自分たちのまちの経済・社会・環境について考えましょう。  
また、小樽の経済・社会・環境についても知ましょう。

### 02 研修旅行の 準備をしよう

研修旅行の行き先やスケジュールを決めましょう。  
また、自分たちが見学する場所について、概要（歴史、立地、特徴など）や施設利用のルール、利用可能時間などをあらかじめ調べて予習しておきましょう。

### 03 小樽探究しよう

実際に小樽に行って、小樽の人の話を聞いたり、施設を見学したり、まち歩きをしましょう。探究テーマに従って、自分たちのまちに持ち帰りたいアイデア等を探しましょう。

### 04 自分たちのまちで 活かせるような アイデアを考えよう

小樽で探究した内容を振り返り、自分の地元で活かせるようなエッセンスを抽出しましょう。そして、そのエッセンスをどのようにアレンジすれば、地元でも活用できるアイデアになるか考えましょう。

### 05 発表しよう

考えたアイデアを、みんなの前で発表しましょう。

## 第1章 自分たちのまちと 小樽について知ろう

自分たちのまちを持続可能なまちにするために、自分たちのまちについて理解を深めましょう。  
また、小樽の経済・社会・環境についても知ましょう。

### 自分たちのまちについて知ろう

自分たちのまちを持続可能なまちにするために、  
まず、自分たちのまちがどのようなまちかを知ましょう。

#### 自分たちのまちの概要ワークシート

まちの名前	都道府県	人口	面積

## 自分たちのまちのバランスシート ①

自分たちのまちの経済、社会、環境について、知っていることを書きましょう。

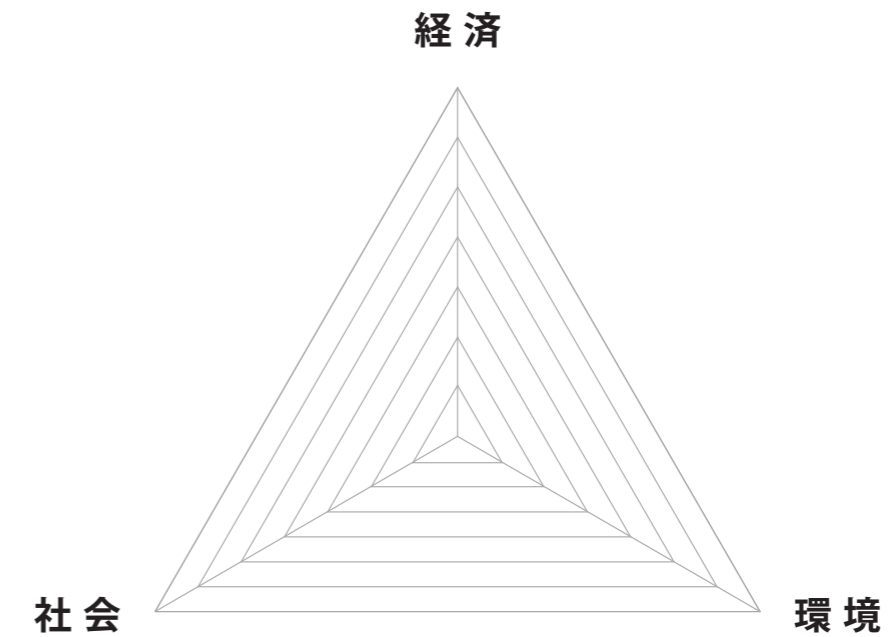
**経済** (企業、名物、観光地など、まちを経済的に豊かにしてくれるもの)

**社会** (福祉、治安、住みやすさなど)

**環境** (自然や生活環境など)

## 自分たちのまちのバランスシート ②

まちのバランスシートをレーダーチャートに書き込みましょう。



自分たちのまちを持続可能にするため、  
どのような視点で小樽の探究を行えばよいか考えましょう

A large empty rectangular box provided for writing the results of the radar chart analysis.

## 小樽の基礎知識

研修旅行に行く前に、小樽の概要や経済、社会、環境について学びましょう。

### 小樽市の概要

北海道の都道府県庁所在地である札幌の西隣に位置しています。(札幌から約30km)



人口：約11万人 面積：243.83km<sup>2</sup>

※令和5年3月時点

### 小樽クイズ

小樽市への  
アクセス  
方法・手段は？



Otaru Quiz

### 小樽市の経済

小樽市の経済に大きく貢献しているものとして「観光」と「ものづくり・伝統産業」「漁業」が挙げられます。

#### 《観光都市としての小樽》

小樽市は観光地として非常に人気があるまちで、明治期以降の歴史の面影を残すまち並みが今も残り、年間約800万人(※注 コロナ前)もの観光客が訪れる国内有数の観光都市です。

小樽市としても、観光客に多く来ていただく為、海、港、山、坂、四季折々の顔、運河と倉庫群、古いまち並、歴史的建造物、産業遺産、遺構、神社・寺院・教会、食文化…数え上げたらキリがないくらいのコンテンツを活用しています。

小樽運河沿いにある 明治期以降に造られた旧倉庫群は、現在ではカフェやショップが並ぶモダンな地区に生まれ変わっています。

また将来に向けて観光客を受け入れる為に施設・設備や交通網の整備に投資をしています。

例えば小樽港の大型クルーズ客船誘致に向けて再開発計画を進め、観光拠点として整備する「国際インフォメーションセンター」の計画や2030年に北海道新幹線「新小樽駅(仮称)」開業に伴い「おたる新幹線まちづくりアクションプラン」を策定し、官民一体となり地域の活力に繋げる取組も行っています。

### コラム

#### ガラスの歴史

小樽のガラスの歴史は、生活必需品の「石油ランプ」と、物流の拠点であったため「容器」の製造から始まります。

明治中期(1890年頃)北海道の玄関口として、北海道開拓の重要な役割を担うものの、小樽は電気の普及が追いついていなかったため、ガラス製の石油ランプが各家庭での「あかり」として必需品でした。

このため、小樽では実用的な石油ランプや容器製造を中心とするガラス工業が盛んでした。しかし、電気の普及などで、その需要は減少傾向に。

実用性重視だったガラス製品を見直し、デザインにこだわり、ぬくもりや安らぎのあるものを生み出し、インテリアや小物などにも使われるようになっていきました。それが市民や観光客にも喜ばれ、いつしか「小樽といえばガラス」と定着。

時代の変化とともに需要が減っていたガラス製品が、作り方や使い方を少し変えることで生まれ変わり、ガラスは小樽の文化へと根付いていったのでした。全国各地にあった浮き玉を製造する工場は減少し、現在は国内唯一として、小樽にある浅原硝子製造所だけになりました。

創業は明治33年(1900年)、初代浅原久吉が小樽市富岡町に硝子製造工場をひらき、ランプや投薬瓶などガラス製の生活雑器を製造したところから始まります。その後、漁業用の浮き玉を考案し、ニシン漁や北洋漁業に貢献しました。

網の目印として使われた浮き玉。北洋漁業が縮小し、ニシン漁が衰退すると需要は減り、プラスチック製の浮き玉(オレンジ色のパイ)に変わって行きました。それでも伝統を守り、小樽の硝子の浮き玉製造の技術を後世に残すべく、浮き玉を作り続ける会社が小樽にはあるのです。

#### 《ものづくり・伝統産業のまち 小樽》

小樽市は、古くから北海道開拓の拠点の一つとして先駆的な役割を果たしてきており、高い技術力をもった「ものづくり・伝統産業」の企業が多く集積しております。

また、「ものづくり・伝統産業」企業の市場開拓や企業間連携の促進につなげていき、地場企業の発展や雇用機会の拡大など小樽市経済の活性化を図っています。

ガラス工芸

ゴム

水産加工

プラスチック

金属

機械

小樽を訪れた際は、このようなものづくり・伝統産業の商品も探してみましょう。

旅行前

事前学習をしよう

旅行中

研修旅行をデザインしよう

旅行後

小樽を探求しよう

アイデアを考えよう

発表しよう



## 《 漁業のまち・小樽 》

小樽市は、北海道の日本海側中央部に位置し、68.62km（銭函～蘭島）の海岸線を有しています。海岸の形状も、砂地海岸や岩礁地帯、転石海岸と変化に富んでおり、魚介類の種類も多く、小樽で漁獲される魚介類は約40種類で、令和3年の漁獲量は約2.2万トン、漁獲金額は約30億円となっています。

小樽の沿岸漁業は、江戸時代から行われたニシン漁を主体に栄えてきましたが、昭和29年の群来を境にそのニシンが衰退し、その後刺網・エビ籠・沖合底びき・延縄等の漁船漁業を主体に発展してきました。

昭和52年に200海里水域が設定され国際漁業規制が年々強化されることにもない、沖合底びき漁業の縮小を余儀なくされ、その後、採介藻漁業・ホタテ養殖漁業に力を注ぎ現在に至っております。

近年では水産資源の減少から、つくり育てる漁業・資源管理型漁業を推進し、ニシン、ヒラメ、サケ、マスの稚魚、アワビ、ウニの種苗の放流やナマコの増養殖事業、藻場の磯焼け対策などに取り組んでおります。

ニシンについては、平成15年から稚魚の放流を続け、平成21年に漁獲量が急増したことから、放流の成果であると考えられ、ナマコの種苗生産については、これまでの試験・研究の結果を生かした、本格的な種苗生産の実施を目指しています。

また、藻場の磯焼け対策として、ウニの移植やモニタリング調査を実施し藻場の保全に努め、コンブなどの生物量の増加が確認されています。

小樽で水揚げされる水産物は、卸売市場で「せり」にかけられ、仲卸売業者を通して小売店に届けられます。

小樽市には、「小樽市公設水産地方卸売市場」と「小樽市漁業協同組合地方卸売市場」の2つの地方卸売市場があります。令和3年は約32.8億円（地元29.9億円、移入2.9億円）の取扱いとなっています。

### コラム

#### ～おたるのおタテ～ 「おタテ」ブランド化推進プロジェクト

令和3年5月、観光庁の「地域の観光の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」の採択を受け、「小樽ホタテブランド化推進プロジェクト実行委員会」が始動！

小樽祝津産ホタテを「おタテ」とネーミングし、ブランド化することを目指し、祝津の漁師たちの挑戦が始まりました。

【情報】おタテ ～持続可能な養殖漁業の物語～  
<https://otaru.jp/blog/3043>



みなさんは、「SDGs」という言葉を耳にしたことはありますか？

SDGsは、2015年に国連の「持続可能な開発サミット」で定められた、2030年に向けて持続可能でより良い世界を目指す17の目標です。正式には「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」といいます。「誰一人取り残さない（Leave no one Behind）」をコンセプトに、先進国と途上国の経済格差問題の解決、そして持続可能な社会を目指しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## ホンモノの小樽と触れ合う

— 観光客と市民が触れ合い、新しい発見があり、また来たいと思えるまち —

小樽が持続的な観光都市としてさらに発展する為に小樽観光のあるべき姿を「第二次小樽市観光基本計画」で、下記の方向性を定めております。小樽を訪れる前に取り組みを調べてみましょう。

**第二次小樽市観光基本計画**

小樽観光の <目指すべき姿>  
**ホンモノの小樽とふれあう**

観光客と市民がふれあい、新しい発見があり、また来たいと思える街 —

小樽独自の歴史や文化に裏打ちされた奥深きこそがホンモノの小樽であるということを柱に据え、小樽が有する多様な観光資源を掘り起こし、新たな魅力として磨き上げ、観光客に訴求します。

ホンモノの小樽とは—

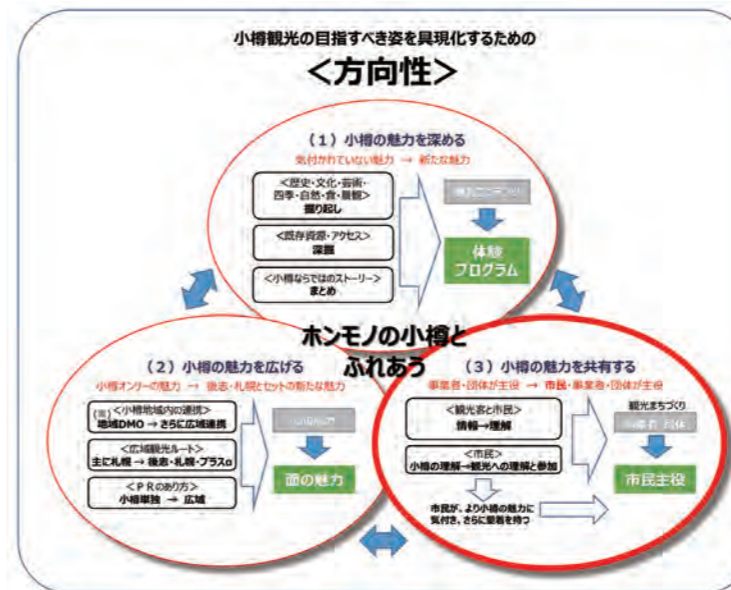
小樽には、海、港、山、坂、四季折々の風、運河と倉庫群、古い街並、歴史的建造物、産業遺産、道標、神社・寺院・教会、食文化… 数え上げたら切りがないコンテンツがそろっており、日本有数の豊富な観光資源に恵まれている街です。

また、このようなホンモノの資源・遺産を古くから守り抜いてきた市民の「愛国心」、「愛郷心」、「愛人懐」などの気質も小樽独自の歴史・文化であり、市民の生活、市民のなりわいそのものが魅力であり、ホンモノの小樽と言えます。

観光客と市民が、数あるホンモノの魅力を感じ、交流を通じてふれあうことが、成熟した観光都市を目指すうえで新たな一歩になると考えます。

【ホンモノの小樽を構成する主な魅力の数々】

ずっと小樽にいるから私たち市民は気付かない、その日常が、観光客がふれたい小樽です。



～参考～  
 第二次小樽市観光基本計画（概要版）  
 小樽市産業港湾部観光振興室  
 〒047-0007 小樽市港町4番3号  
 TEL. (0134) 32-4111（内線7450）  
 FAX. (0134) 27-8600  
 E-mail kanko@city.otaru.lg.jp  
 ホームページ <https://www.city.otaru.lg.jp>





## 第2章 研修旅行の準備をしよう

小樽のまちが持続可能であるポイントを知るために、研修旅行の準備をしましょう。  
研修旅行の行先やスケジュールを決め、事前の調査も行いましょう。

### 自分たちの研修旅行をデザインしよう

#### 研修旅行デザインシート

出発地	出発時刻		:
交通手段	交通費	他費用	
駅・停留所(出発)	出発時刻		:
メモ			
駅・停留所(出発)	出発時刻		:
行先			
見学時間	見学料		
交通手段	交通費	他費用	
駅・停留所(出発)	出発時刻		:
メモ			
駅・停留所(出発)	出発時刻		:
行先			
見学時間	見学料		
交通手段	交通費	他費用	
駅・停留所(出発)	出発時刻		:
メモ			

駅・停留所(出発)	出発時刻		:
行先			
見学時間	見学料		
交通手段	交通費	他費用	
駅・停留所(出発)	出発時刻		:
メモ			

#### 事前調査ワークシート

実際に小樽に行く前に、見学することに決めた施設や場所などの下調べをしましょう。

行先
そこで何がしたいか
調べたこと

行先
そこで何がしたいか
調べたこと

## 第3章 小樽のまちを探究しよう

自分たちのまちを持続可能な街にするために、自分たちのまちについて理解を深めましょう。また、小樽の経済・社会・環境についても知りましょう。

### 小樽で探究しよう

**[アドバイス]** 感じた魅力に間違いはない。自分らしい「小樽の魅力」を探してみよう。

#### 探究テーマ一覧

- 1 昔ながらの小樽のまち並みを維持できている秘訣とは？
- 2 小樽のものづくり・伝統産業が、誰にも親しまれるよう、どんな工夫がなされているのか？
- 3 旅行者に、より観光を楽しんでもらうためにしている取り組みとは？
- 番外 小樽の店舗が、地元小樽や周辺市町村の人たちからも愛されるよう取り組んでいることとは？

#### 探究の進め方

01

##### 探究テーマと関連する物を見つけよう

実際にまち歩きをしましょう。見学先やそこまでの経路で、探究テーマと関連するものを探しましょう。見学先だけでなく、通り道や駅などでも探究を行うことは可能です。

02

##### 見つけたものについて調べよう

見つけたものについて、スマートフォンやタブレットを利用して調べてみましょう。また、関係者にも話を聞いてみましょう。

03

##### 自分のまちに持って帰りたいアイデアをメモしよう

見つけたもののエッセンスを自分のまちに活かさないか考えてみましょう。思いついたアイデアをワークシートにメモしましょう。

行先
そこで何がしたいか
調べたこと

行先
そこで何がしたいか
調べたこと

行先
そこで何がしたいか
調べたこと

## 昔ながらの小樽のまち並みを、 今も維持できている秘訣とは？

小樽市は長い歴史を持ったまちで、古く歴史のあるまち並みが今も保たれています。歴史あるまち並みをどう保っているのでしょうか？探究してみましょう。

### 小樽運河の歴史って？

人気の観光地・小樽運河には季節を問わず多くの観光客が訪れています。いまや北海道観光の目玉ともなっている小樽運河の周辺には、お土産店や飲食店が立ち並び、いつも賑わっています。でも、もし運河が存在していなかったら、これほど人気の観光地になっていたのでしょうか？

実は今から約50年前、小樽運河を埋め立てるという計画が進められていました。現在の小樽運河の賑わいの陰には、繰り広げられた長い歴史があったのです。

今では有効活用され、小樽の代表的なまち並みの一つである小樽運河の歴史を調べてみましょう。

### 昔ながらの建物はどう活用されているの？

小樽は古い歴史的な建造物や文化財の建築がたくさんあります。

文化財となっている歴史的建造物はもちろん、明治・大正・昭和期の近代建築などは、今でも有効活用されています。また近年では「旧北海製罐第3倉庫」の活用・保全が注目されています。

調べてみましょう。

### 日本遺産って？

「日本遺産 (Japan Heritage)」は地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけではなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

小樽に関わる日本遺産は2つと日本遺産候補地域が1つです。調べてみましょう。

- 日本遺産ポータルサイト 》 <https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/>
- 小樽文化遺産ポータル 》 <http://otarubunkaisan.jp/>



### 小樽市歴史文化基本構想とは？

小樽市には、縄文時代以来の歴史・豊かな自然・近世近代の移住者が伝えた風習・まちなみを形成する歴史的建造物など、多様な暮らしの背景を持つ文化遺産が残されています。本構想では、まちのあゆみを物語る歴史文化・自然に関する文化遺産の情報を可能な限り収集し「小樽文化遺産」と名付けました。それらを「見出し、守り、伝え、使う」ことを基本理念としています。

調べてみましょう。

### 《 インタビューしよう 》

関係者に話を聞いてみましょう。

お店の店員さんや、建物の職員さんなどにも話を聞いてみましょう。

### インタビューメモ

インタビュー先	話を聞いた内容



〔1〕昔ながらの小樽のまち並みを、今も維持できている秘訣とは？

探究ワークシート ①

行先・見つけたもの

それに注目した理由

調べてみよう (なんでそうなったか、どうしてそのようなものがあるのか)

調べて感じたこと

自分たちのまちに持って帰りたいものメモ (P.37で整理するので、この段階ではネタ程度でOKです)

CHECK

- 経済
- 社会
- 環境

探究ワークシート ②

行先・見つけたもの

それに注目した理由

調べてみよう (なんでそうなったか、どうしてそのようなものがあるのか)

調べて感じたこと

自分たちのまちに持って帰りたいものメモ (P.37で整理するので、この段階ではネタ程度でOKです)

CHECK

- 経済
- 社会
- 環境



## 小樽のものづくり・伝統産業が、 誰にでも親しまれるよう、 どんな工夫がなされているのか？

小樽の基礎知識で学んだ通り、小樽にはガラス工芸、ゴム加工など数々のものづくり・伝統産業があります。

これらのものづくり・伝統産業は昔から小樽に住んでいる年配の方だけではなく、若い人たちにも親しまれています。

例えばガラス工芸を体験できるメニューで楽しんでもらったり、老舗のゴムメーカーがおしゃれな長靴やファッションを手掛けたりしています。

### コラム

#### ～小樽堺町ゆかた風鈴まつり～

日本の伝統的な浴衣姿でのそそろ歩きが似合う、歴史あるまち並みが残されている小樽堺町で、ガラスのまち小樽にふさわしいガラス工芸を活用した風鈴の音色を楽しめる爽やかな夏のイベントです。

まつりの前後、商店街には街灯に風鈴が取り付けられ、訪れる観光客や市民に涼しげな音色を聞かせてくれます。

### ガラス工芸体験に触れる場所は？

小樽市内ではガラス工芸体験に触れる場所が沢山あります。調べてみましょう。

ガラス工芸体験施設	ガラス工芸販売店

### どんな商品が展開されているの？

例えばガラス工芸といっても一緒くたでなく、沢山の製品があります。小樽のものづくり・伝統産業の商品を調べてみましょう。

### 《 インタビューしよう 》

関係者に話を聞いてみましょう。

お店の店員さんや、建物の職員さんなどにも話を聞いてみましょう。

インタビューメモ	
インタビュー先	話を聞いた内容

[2] 小樽のものづくり・伝統産業が、誰にでも親しまれるよう、  
どんな工夫がなされているのか？

探究ワークシート ①

行先・見つけたもの

それに注目した理由

調べてみよう (なんでそうだったか、どうしてそのようなものがあるのか)

調べて感じたこと

自分たちのまちに持って帰りたいものメモ (P.37で整理するので、この段階ではネタ程度でOKです)

CHECK

- 経済
- 社会
- 環境

探究ワークシート ②

行先・見つけたもの

それに注目した理由

調べてみよう (なんでそうだったか、どうしてそのようなものがあるのか)

調べて感じたこと

自分たちのまちに持って帰りたいものメモ (P.37で整理するので、この段階ではネタ程度でOKです)

CHECK

- 経済
- 社会
- 環境

## 🔍 旅行者に、より観光を楽しんでもらうためにしている取り組みとは？

小樽の基礎知識でも触れたように、小樽には毎年多くの観光客が訪れます。様々な観光客に満足してもらうためには仕掛けが必要です。

国内だけでなく小樽には東アジアを中心に多くの外国人の方も訪れます。多様な属性を持つ人たちに、それぞれに喜んで貰うため、小樽ではどのように工夫しているのでしょうか？

### 旅行者への情報発信はどうしているの？

観光ガイドブックでの情報提供や発信、今ではSNSで発信など多数の媒体での情報提供が必要です。どのような取り組みで、どのような種類・数・場所等で発信されているのでしょうか？調べてみましょう。

### 四季折々の様々な誘客計画には何があるの？

小樽では四季折々の様々なイベントを開催し誘客に繋げています。どのようなイベント・取り組みがあるか調べてみましょう。観光客だけでなく市民やボランティアは関わっているのでしょうか？また、外国の方がボランティアに関わることはあるのでしょうか？大型クルーズ客船誘致にも力を入れていますので、調べてみましょう。

## 《 インタビューしよう 》

関係者に話を聞いてみましょう。

お店の店員さんや、建物の職員さんなどにも話を聞いてみましょう。

インタビューメモ	
インタビュー先	話を聞いた内容



〔3〕旅行者に、より観光を楽しんでもらうためにしている取り組みとは？

探究ワークシート ①

行先・見つけたもの

それに注目した理由

調べてみよう (なんでそうだったか、どうしてそのようなものがあるのか)

調べて感じたこと

自分たちのまちに持って帰りたいものメモ (P.37で整理するので、この段階ではネタ程度でOKです)

CHECK

- 経済
- 社会
- 環境

探究ワークシート ②

行先・見つけたもの

それに注目した理由

調べてみよう (なんでそうだったか、どうしてそのようなものがあるのか)

調べて感じたこと

自分たちのまちに持って帰りたいものメモ (P.37で整理するので、この段階ではネタ程度でOKです)

CHECK

- 経済
- 社会
- 環境



# 小樽の店舗が、地元の小樽や 周辺市町村の人たちからも 愛されるように取り組んでいることは？

番外編

2019年まで小樽には国内外の沢山の観光客が訪れ賑わっていました。  
しかし2020年初頭から全世界的に流行した「新型コロナウイルス」の影響で、国や都市をまたいでの遠距離移動が規制されるようになりました。  
その結果、約800万人の観光客が2020年は259万人まで激減し、観光業や外食産業に経済的に大きな影響を及ぼしました。  
そのような中、小樽ではもともと北海道内から来訪する旅行者が全体の半分以上占めていた特徴があったためこのような時だからこそ、地元の方、周辺市町村、もともと小樽への日帰り旅行者が多い札幌市の方々により小樽に目を向けてもらおう、忘れないで欲しいと色々なPR・取り組みを始めました。  
まちのお店の方に地元の人や周辺市町村の人に愛される取り組みについて聞いてみましょう！

インタビューメモ	
インタビュー先	話を聞いた内容

## 小樽なんでも探究

- 小樽は「屋根のない博物館」とも言われています。  
なぜか調べてみよう
- 鯨（ニシン）が小樽の発展役だったのはなぜか調べてみよう
- 石蔵が沢山あるのはなぜか調べてみよう
- 小樽に近代建築が沢山あるのはなぜか調べてみよう
- 小樽の鉄道を調べよう
- 小樽にはどうして観光客がくるのか調べてみよう
- 小樽の建物の印はなぜあるか調べてみよう
- 小樽のグルメって、どんなものがあるか調べてみよう
- 小樽に餅屋が多いのはなぜか調べてみよう
- 小樽にスキー場はいくつあるのか、調べてみよう

### コラム

#### マイクロツーリズム

皆さんは「マイクロツーリズム」という言葉を聞いたことがありますか？  
「マイクロツーリズム」とは、自宅から1～2時間ほどの距離で、安心、安全に過ごしなが、地域の魅力を深く知るきっかけになり、地域経済にも貢献していけるという旅のスタイルのことです。  
近くにあるのに、まだ体験したことのないワクワクした体験や見たことのない景色、触れたことのない文化などが盛りだくさんな“地元”を再発見する旅です。

### 探究ワークシート ①

行先・見つけたもの

それに注目した理由

調べてみよう (なんでそうなったか、どうしてそのようなものがあるのか)

調べて感じたこと

自分たちのまちに持って帰りたいものメモ (P.37で整理するので、この段階ではネタ程度でOKです)

CHECK

- 経済
- 社会
- 環境

### 探究ワークシート ②

行先・見つけたもの

それに注目した理由

調べてみよう (なんでそうなったか、どうしてそのようなものがあるのか)

調べて感じたこと

自分たちのまちに持って帰りたいものメモ (P.37で整理するので、この段階ではネタ程度でOKです)

CHECK

- 経済
- 社会
- 環境

# 第4章 自分たちのまちで活かせそうなアイデアを発表しよう

研修旅行から帰ってきました。  
小樽で学んだことを自分のまちに活かすようなアイデアを考えて発表しましょう。

## 自分たちのまちで活かせそうなアイデアを考えよう

研修旅行を振り返りましょう。行った場所と印象的だったことを書いておきましょう。  
P17の計画から変更された部分があれば、それも書いてください。

振り返りワークシート		
	行った場所	印象的だったこと
月 日		
AM		
PM		
月 日		
AM		
PM		

### 3つの探究テーマまとめ

探究ワークで見つけた自分たちのまちに持って帰りたいものを書き出しましょう。それぞれの探究ワークシートの、「自分たちのまちに持って帰りたいものメモ」にメモしたことを、それぞれ「経済」「社会」「環境」を軸に書き出しましょう。

経済

社会

環境

それぞれの共通点や、気づいたことを書き出しましょう



## 自分が住んでいるまちについて

事前研修で考えていた、自分のまちの改善したい点とP37で書き出したアイデアとを関連づけましょう。必要に応じて、アイデアを修正したり、自分のまちや小樽に関する追加調査も行いましょう。

アイデアワークシート		
	課題	解決するためのアイデア
経済		
環境		
社会		

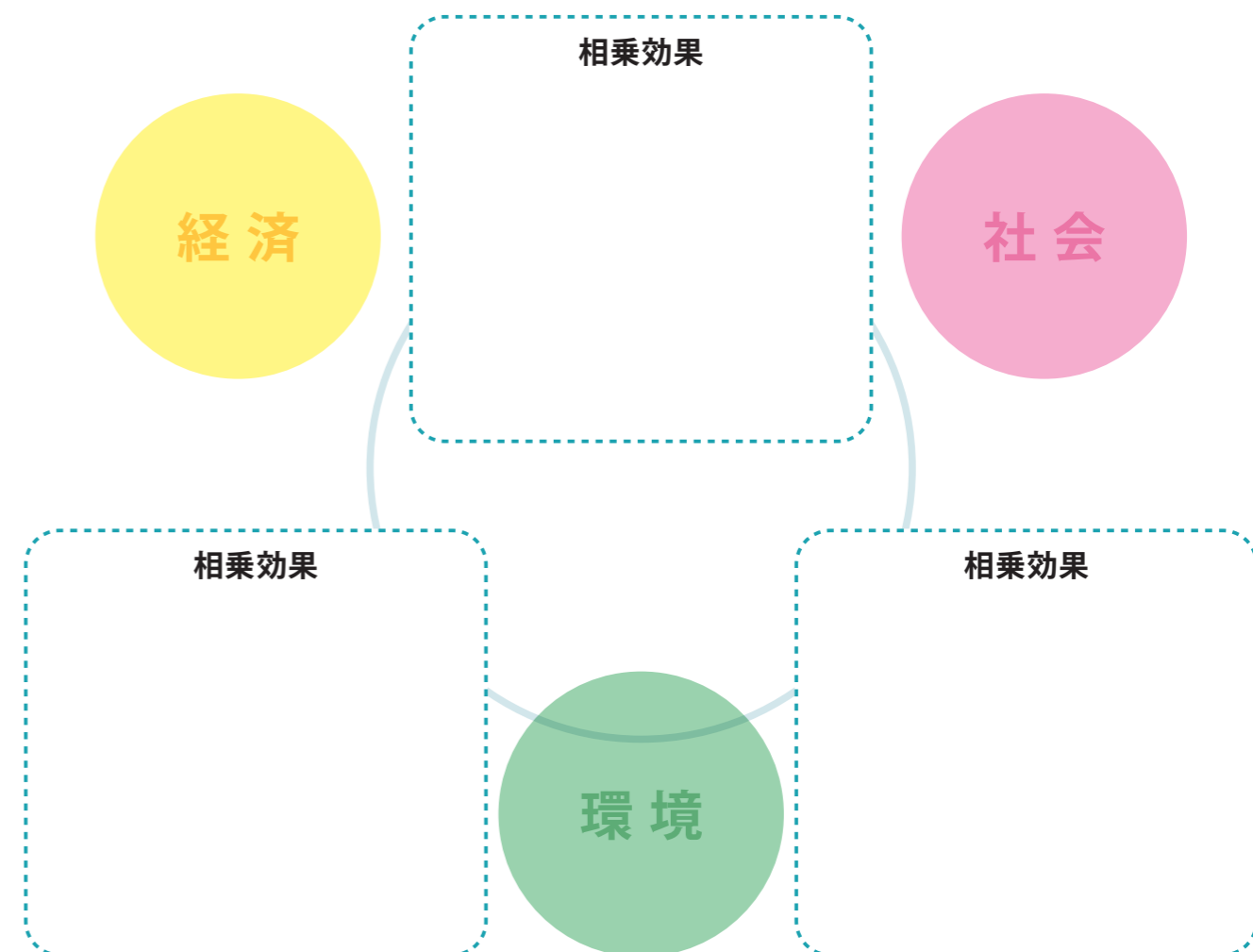
整理したアイデア

## ディスカッションしよう

それぞれが考えたアイデアについてチームで話し合しましょう。

みんなのアイデアを整理しよう

そのアイデアが経済、社会、環境にもたらす相乗効果について考えましょう



# 発表しよう

## 発表について

今回の研修旅行のまとめとして、小樽からヒントを得た、自分たちのまちで活かせるようなアイデアを発表しましょう。発表する時は、主に以下の3つのポイントについて説明するようにしましょう。

### 01 どんなアイデアか

自分たちが考えたアイデアがどのようなアイデアかを説明してください。経済、社会、環境の課題をどのように解決するかも説明しましょう。

### 02 それは自分たちのまちにどのような効果をもたらすと期待できるか

そのアイデアを実現したら、どんな良いことがあるのか、自分の地元にとってどんなメリットがあるのか、それぞれの経済、社会、環境にどのような相乗効果をもたらすかを説明してください。

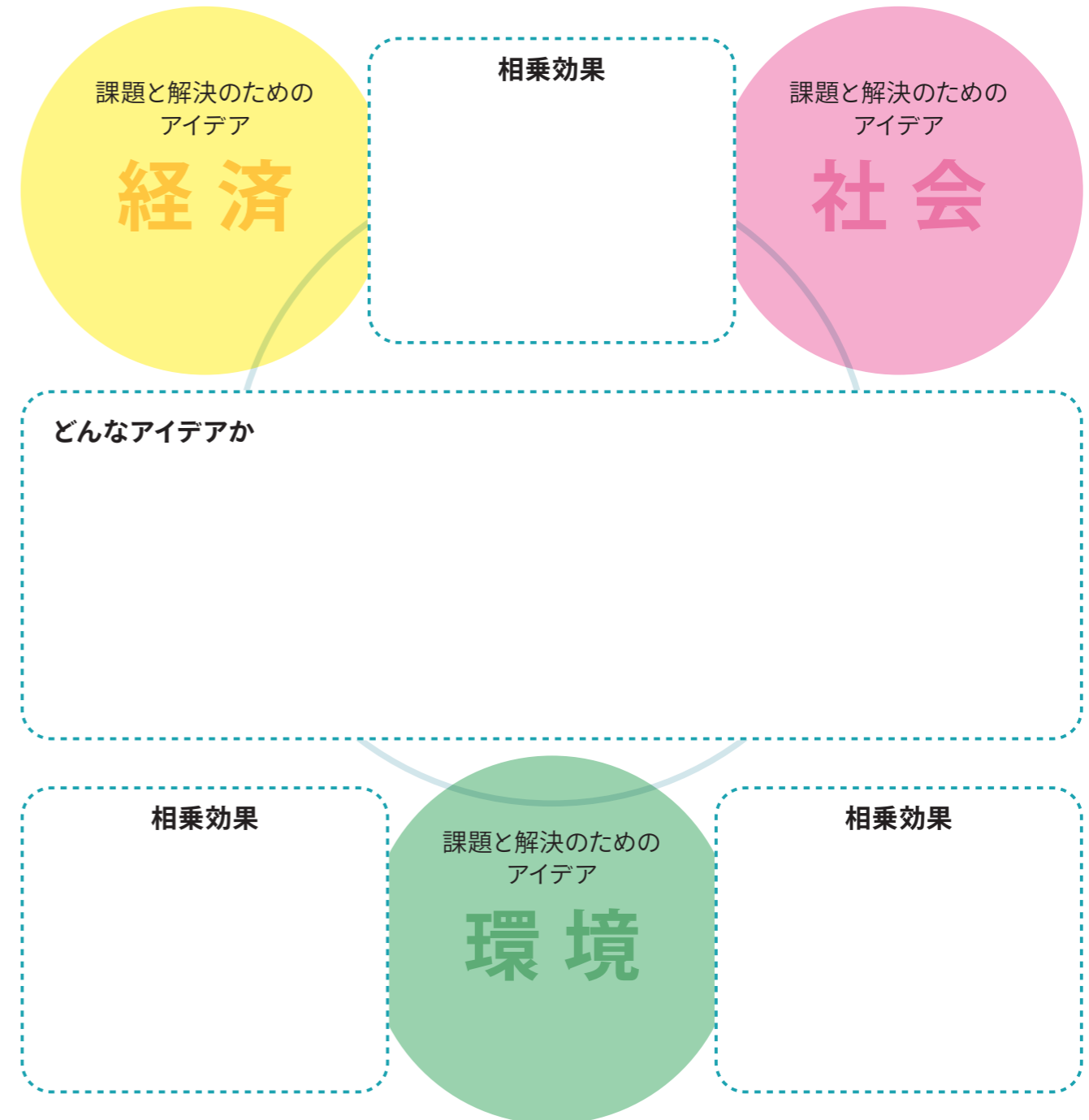
### 03 そのアイデアが出て来た経緯

そのアイデアは小樽の「どこ」で見た「なに」を参考にしたか、または小樽で「だれ」に聞いた「どんな」話を参考にしたのかを説明してください。

発表する時には、どうしても上手に話すことに意識が向きがちです。しかし、上手に話すことよりも大切なのは、聞いている人に正しく伝わることです。皆さんの発表を聞いた人が「良いアイデアだな」と納得し、「このアイデアのこの部分を改善したらどうだろう」といった意見を引き出すことができるように、分かりやすい発表を心がけましょう。

## 発表シート

アイデアが出て来た経緯と概要



## 小樽教育旅行 体験プログラム& 教育旅行受入宿泊施設

このプログラムは

①タイプ別 ②推奨学年 ③SDGs関連 で分類しています  
宿泊施設は教育旅行で宿泊する為に必要な情報を掲載しています

### 参考文献一覧

◆ SDGsとは? / 外務省

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

◆ 学習指導要領 / 文部科学省

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/idea/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/idea/index.htm)

◆ 小樽市歴史文化基本構想 / 小樽市教育委員会

<https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2020101500078/>

◆ 日本遺産 / 日本遺産ポータルサイト (文化庁)

<https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/>

◆ 小樽のものづくり / 小樽市産業港湾部 産業振興課

<https://www.city.otaru.lg.jp/categories/bunya/sangyo/senkyo/>

◆ 第二次小樽市観光基本計画 / 小樽市産業港湾部 観光振興室

<https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2020101000233/>

◆ 小樽市観光入込客数 / 小樽市産業港湾部 観光振興室

<https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2020101000134/>

◆ 小樽市温暖化対策推進実行計画 / 小樽市生活環境部 環境課

<https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2020101900922/>

# カテゴリー分けについて

## 体験・観光メニュー



## 対象年齢



## SDGs

### 持続可能な開発目標 (SDGs) とは?

SDGsとは、2015年9月の国連サミットにおいて採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際社会共通の目標です。

17項目 (169のターゲット) から構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

「SDGs」の達成に向け、一人一人が身近なことから取り組んでいく必要があります。

SDGsや探究型学習など、学校での「学び」をこの小樽でも実践できるよう、各プログラムにはSDGsアイコンを表記しておりますので、ご参照ください。

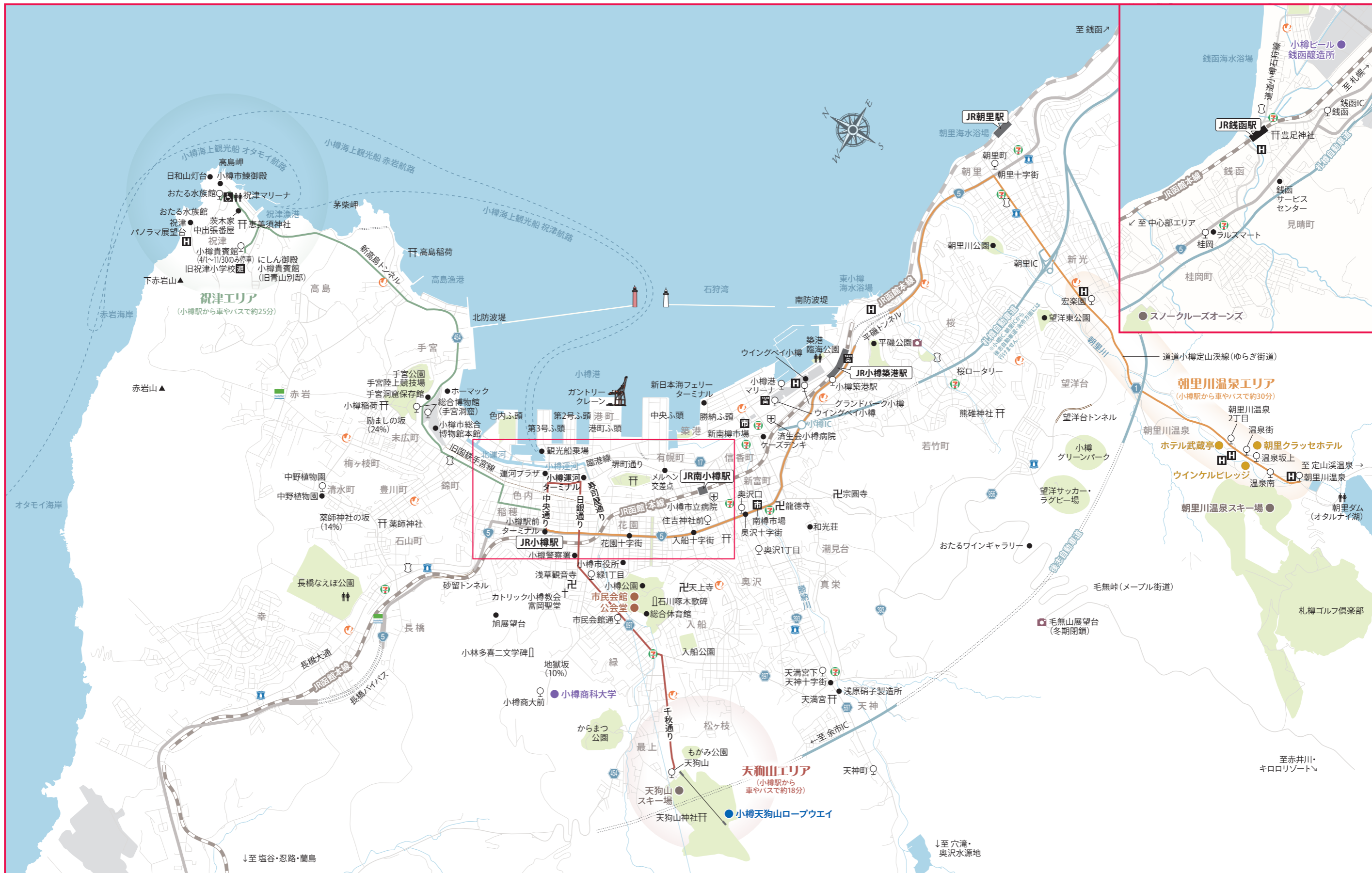


## エリア

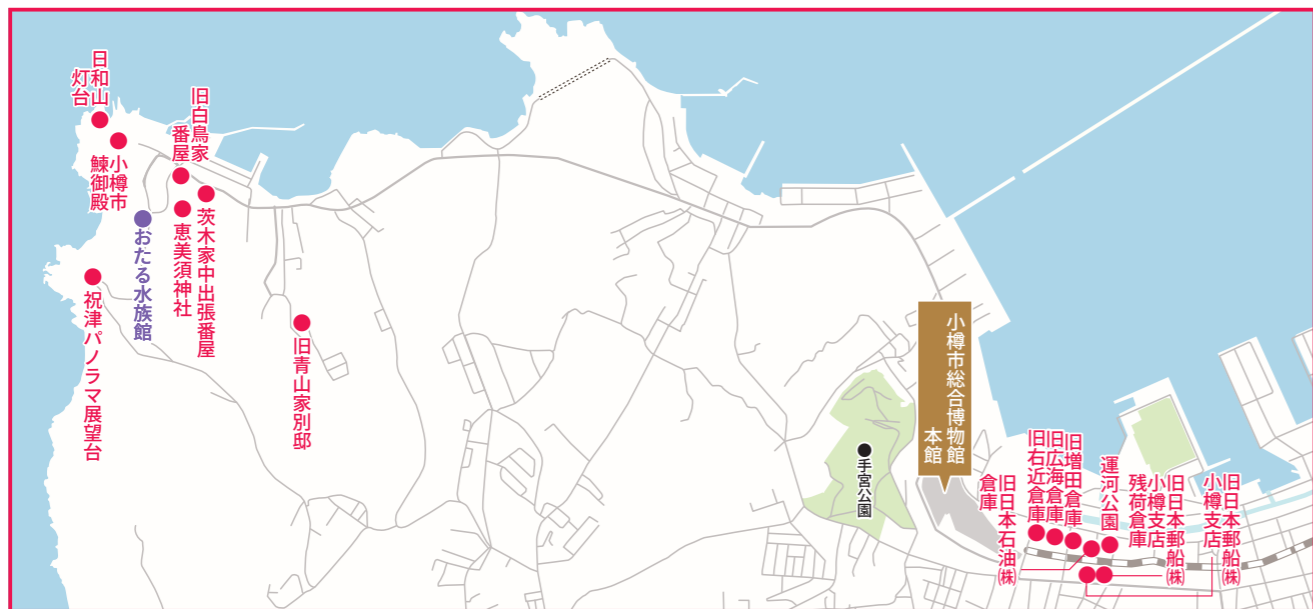
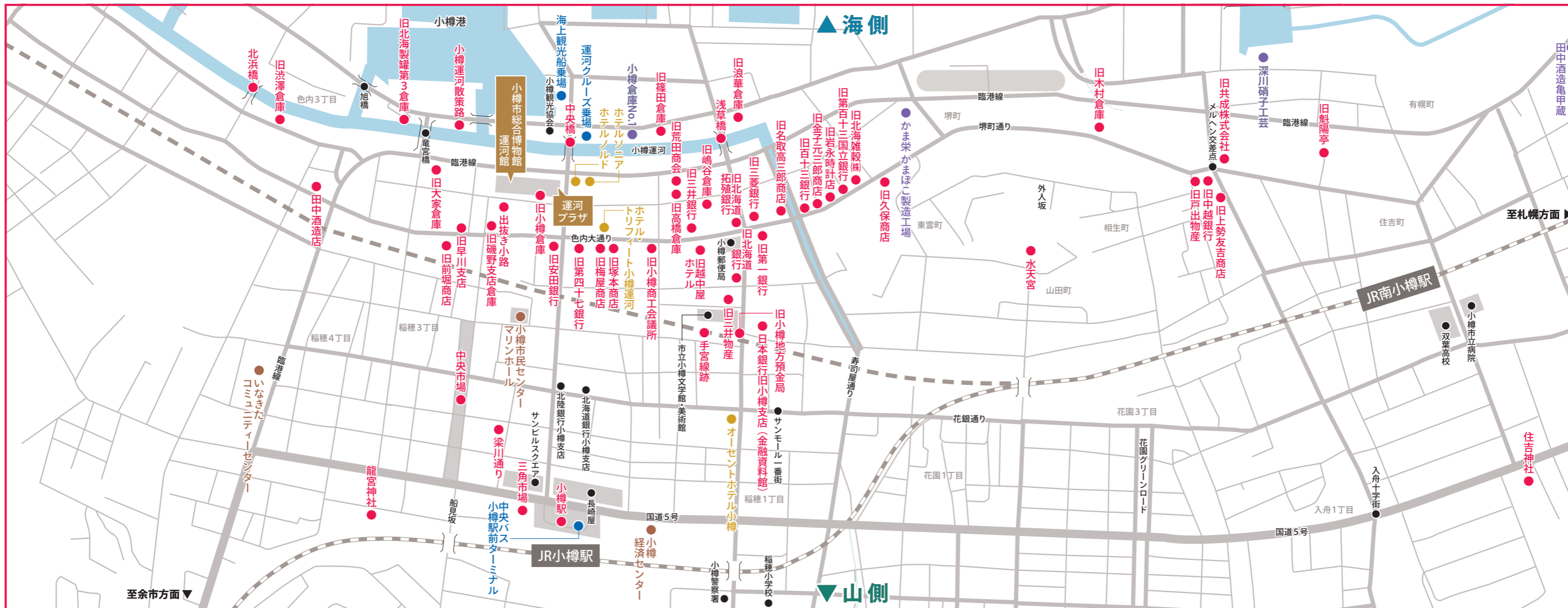




# 小樽地図



# 小樽地図



※小樽職人の会製作体験の体験会場は事務局にて調整の上決定となりますので、MAPに記載していません。





## 小樽市内路線バス



小学生向け	中学生向け	高校生向け	一般向け
祝津エリア	手宮エリア	色内エリア	堺町エリア
天狗山エリア	小樽築港エリア	朝里川温泉エリア	銭函エリア



### ◆ 運賃 (1乗車) … 大人 240円、小人 120円

お支払いは現金、各種ICカード (SAPICA・Kitaca・Suica) をご利用いただけます。

### ◆ おたる市内線バス1日乗車券 … 大人 800円、小人 400円

市内線 (市内均一区間) のバスが1日乗り放題!

発券箇所: 中央バス小樽駅前ターミナル、運河プラザ、バス車内他

### ◆ 主な観光路線

⑨天狗山ロープウェイ線 9時台~20時台の間 約30分間隔で運行 (15・16時台は約20分間隔)

【主要停留所】小樽駅前・小樽芸術村・天狗山ロープウェイ

⑩おたる水族館線 9時台~18時台の間 50~60分間隔で運行 (平日は2時間に1本)

【主要停留所】小樽駅前・総合博物館・おたる水族館

⑪祝津線 7時台~20時台の間 約30分~60分間隔

【主要停留所】小樽駅前・手宮・おたる水族館

※最新の運行時間・料金等はHP等でご確認ください。

《お問い合わせ先》 中央バス小樽駅前ターミナル TEL:0134-25-3333

## 小樽海上観光船/屋形船



小学生向け	中学生向け	高校生向け	一般向け
祝津エリア	手宮エリア	色内エリア	堺町エリア
天狗山エリア	小樽築港エリア	朝里川温泉エリア	銭函エリア



おたる水族館へのアクセスにも便利な海上観光船と北海道唯一の屋形船 (貸切可) にて、海から見る小樽の町並みや景勝地をお楽しみください。屋形船を貸切で利用された際には、おたる案内人が乗船し、小樽や港の歴史についてガイドすることも可能です。(要相談)

### ◆ 運航時間 … シーズンにより変動いたします。

### ◆ 所要時間 … 片道20分のコース~往復90分のコースまで

### ◆ 料 金 … コースにより異なります。学校団体料金・大人・往復 1,280円~ / 学校団体料金・小人・往復 640円~

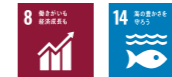
※最新の運航時間・料金等はHP等でご確認ください。

《お問い合わせ先》 小樽観光振興公社

小樽市港町4-2 TEL:0134-29-3131 URL:https://otaru-kankousen.jp/



## 小樽運河クルーズ



小学生向け	中学生向け	高校生向け	一般向け
祝津エリア	手宮エリア	色内エリア	堺町エリア
天狗山エリア	小樽築港エリア	朝里川温泉エリア	銭函エリア



北海道経済の中心地であったかつての小樽で、運河がどのように活用されていたのか、運河と港をめぐる、過去と現在の小樽について学ぶことができ、倉庫群など歴史的建造物をクルーズからすぐそばで見ることができます。団体貸切船対応も可能です。

### ◆ 運航時間 … シーズンにより変動いたします。

(デイクルーズ、ナイトクルーズあり)

### ◆ 料 金 … 大人一般料金 1,800円~ / 小人一般料金 500円~

貸切船 (20名程度) 30,000円~

※最新の運航時間・料金等はHP等でご確認ください。

《お問い合わせ先》 小樽カナルポート 小樽市港町5-4 TEL:0134-31-1733 URL:https://otaru.cc/

## 小樽天狗山ロープウェイ



小学生向け	中学生向け	高校生向け	一般向け
祝津エリア	手宮エリア	色内エリア	堺町エリア
天狗山エリア	小樽築港エリア	朝里川温泉エリア	銭函エリア



「北海道三大夜景」の一つと言われている小樽天狗山。山麓から山頂まで約4分の空中散歩をお楽しみください。山頂では夏季限定でジップライン、熱気球なども体験できます。(別途有料、天候により体験不可の場合もございます。)

※冬期間はスキー場としても利用可能です。

※Netflix「First Love ~初恋」のロケ地として注目を浴びています。

### ◆ ロープウェイ運行時間 … 9:00~21:00 (シーズンにより変動いたします。)

### ◆ 団体料金 (20名以上) … 大人・往復 1,400円 / 小人・往復 700円

※最新の運行時間・料金等はHP等でご確認ください。

《お問い合わせ先》 小樽天狗山ロープウェイ

小樽市最上2丁目16-15 TEL:0134-33-7381 URL:https://tenguyama.ckk.chuo-bus.co.jp/



### 【工場見学】

港町・小樽ならではの食品加工や歴史ある工芸品の工場見学が可能です。ものづくりの現場から、歴史や産業の魅力を学ぶことができます。

※新型コロナウイルスの感染状況等により、休止となる場合もございますので、最新の受入状況は各施設のHP等でご確認ください。

## 小樽ビール 醸造所見学



- 小学生向け 中学生向け 高校生向け 一般向け
- 祝津エリア 手宮エリア 色内エリア 堺町エリア
- 天狗山エリア 小樽築港エリア 朝里川温泉エリア 銭函エリア



ドイツビールの伝統的な製法で醸造する小樽ビール。その醸造方法や優れた設備をご紹介します。

- ◆ 小樽倉庫No.1醸造所見学 … 20分程度・無料
- ◆ 銭函醸造所見学 … 90分程度・大人1,650円～・要予約  
※感染状況により、見学の人数制限をしております。  
※団体の場合、要予約。営業時間前の見学となる場合がございます。

#### 《お問い合わせ先》

小樽倉庫No.1 小樽市港町5-5 TEL:0134-21-2323  
銭函醸造所 小樽市銭函3丁目263-19 TEL:0134-61-2280  
URL: <https://otarubeer.com/jp/>

## かま栄 かまぼこ製造工場見学



- 小学生向け 中学生向け 高校生向け 一般向け
- 祝津エリア 手宮エリア 色内エリア 堺町エリア
- 天狗山エリア 小樽築港エリア 朝里川温泉エリア 銭函エリア



明治38年創業、小樽や北海道を代表する老舗のかまぼこ店です。工場併設の直売店にて、ガラス越しに最新の設備と伝統の職人技を見学できます。

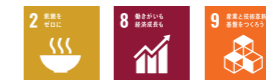
- ◆ かま栄 工場直売店 … 自由見学10分程度・無料・大人数の見学の場合は事前に連絡をお願いいたします。

#### 《お問い合わせ先》 株式会社かま栄

小樽市堺町3-7 TEL:0134-25-6181 URL: <https://kamaei.co.jp/>



## 田中酒造 製造場見学



- 小学生向け 中学生向け 高校生向け 一般向け
- 祝津エリア 手宮エリア 色内エリア 堺町エリア
- 天狗山エリア 小樽築港エリア 朝里川温泉エリア 銭函エリア

亀甲蔵では、北海道米と小樽天狗山の伏流水から作られる地酒造りの様子を一年中毎日見学ができます。本店、亀甲蔵の2店舗とも小樽市の「歴史的建造物」に指定されております。

- ◆ 田中酒造 亀甲蔵 … 自由見学15分程度・無料・10名以上の見学の場合は事前に予約をお願いいたします。

#### 《お問い合わせ先》 田中酒造 亀甲蔵

小樽市信香町2-2 TEL:0134-21-2390 URL: <https://tanakashuzo.com/>



## 深川硝子工芸 工場見学



- 小学生向け 中学生向け 高校生向け 一般向け
- 祝津エリア 手宮エリア 色内エリア 堺町エリア
- 天狗山エリア 小樽築港エリア 朝里川温泉エリア 銭函エリア

硝子製品の製造・加工工程を見学することができます。また、企業として、SDGsの観点から、自動車のリサイクルガラス素材を使用した再生ガラスの製造や融雪水循環システムと廃熱利用のシステムを活用されています。

- ◆ 工場見学 … 自由見学・無料  
団体・学校での見学の場合は要予約

#### 《お問い合わせ先》 深川硝子工芸

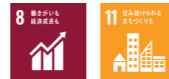
小樽市有幌町2-3 TEL:0134-31-3002 URL: <https://fukagawaglass.co.jp/>







## ■ 印（しるし）探索と自分印キーホルダー



- |        |         |          |       |
|--------|---------|----------|-------|
| 小学生向け  | 中学生向け   | 高校生向け    | 一般向け  |
| 祝津エリア  | 手宮エリア   | 色内エリア    | 堺町エリア |
| 天狗山エリア | 小樽築港エリア | 朝里川温泉エリア | 銭函エリア |

小樽には、古い倉庫や石蔵が多く市内に残っていますが、それら建物の外壁には、文字や記号でつくられた商人の「印（しるし）」が掲げられているものがあります。商人階級は「越後屋」「高田屋」「紀伊国屋」などのような「屋号」も使われていましたが、多くの商人は同職種の者と区別をつけるために、マークとして「カネイ」「ヤマサ」などの印を掲げていました。



### <プログラム内容>

- ①情報提供：印の起源と派生、小樽に印の多い理由など
- ②フィールドワーク：印の読みや由来について、実際の倉庫などから発見
- ③自分印の創作：自分探し、総合性、物語性、柔軟性を表現する
- ④キーホルダー作成：参加者分の用紙を印刷会社に提出し、印鑑を作成してキーホルダーに取り付けます。約2週間後に学校宛に送ります。キーホルダーにすることで、常に持ち歩けることになり、また印鑑の代わりにもなります。

◆小樽観光ネットワーク…要予約・所要時間 約2時間・1名2,200円～

《お問い合わせ先》小樽観光ネットワーク

小樽市桜5丁目21-46 TEL:0134-54-3280 URL:<http://www.o-s-n.co.jp/>

## ■ 小樽商科大学 キャンパス見学



- |        |         |          |       |
|--------|---------|----------|-------|
| 小学生向け  | 中学生向け   | 高校生向け    | 一般向け  |
| 祝津エリア  | 手宮エリア   | 色内エリア    | 堺町エリア |
| 天狗山エリア | 小樽築港エリア | 朝里川温泉エリア | 銭函エリア |

主に高校生向けに「大学とはどんなところか?」を知ってもらうためのキャンパス見学を行うことが可能です。(大学行事等により不可の場合もございますので、事前にご相談ください。)また、高校からの申し込みによる模擬講義やキャンパスツアー等も受け入れています。

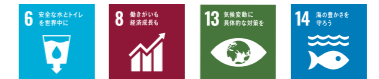


《お問い合わせ先》小樽商科大学 教務課入試室

小樽市緑3丁目5-21 TEL:0134-27-5254 URL:<https://nyushi.otaru-uc.ac.jp/>

## ■ おたる水族館

### ～おたる水族館は体験と学びの宝庫～



- |        |         |          |       |
|--------|---------|----------|-------|
| 小学生向け  | 中学生向け   | 高校生向け    | 一般向け  |
| 祝津エリア  | 手宮エリア   | 色内エリア    | 堺町エリア |
| 天狗山エリア | 小樽築港エリア | 朝里川温泉エリア | 銭函エリア |



自然に近い環境で生活しているおたる水族館の動物たち。館内の見学やタッチプール、大人気の各種ショーに加え、学校団体用プログラムとして、以下の2つのメニューの実施が可能です。

### ①教育プログラム「ペン太の挑戦状」

学校団体向けに、海の生きものたちを題材にした問題を生徒・児童の皆さんに解いていただき、最後にスタッフによる問題の解説を行います。班の皆さんが協力して最終解答を導き出すという体験ができます。

### ②オンラインによる事前学習

来館する前に、学校と水族館を繋ぎオンラインで水族館についての学習をすることができます。事前に提出された生徒・児童の皆さんからの質問等を水族館スタッフが画面を通してお答えします。その結果は水族館で検証する仕組みになっています。

※コロナウイルス感染拡大防止の観点から従来実施をしておりましたが、小中高生向けのバックヤードツアーは中止しています。(令和5年3月時点)

※学校団体の利用の際は事前にお申込みください。

《お問い合わせ先》おたる水族館

小樽市祝津3丁目303 TEL:0134-33-1400 URL:<https://otaru-aq.jp/>



## ■ ガラス製作体験 ～小樽の産業を知る～

- |        |         |          |       |
|--------|---------|----------|-------|
| 小学生向け  | 中学生向け   | 高校生向け    | 一般向け  |
| 祝津エリア  | 手宮エリア   | 色内エリア    | 堺町エリア |
| 天狗山エリア | 小樽築港エリア | 朝里川温泉エリア | 銭函エリア |



小樽のガラスの歴史は明治時代に遡りますが、現代でも、多くのガラス工房で特色のあるガラス工芸品を製作・販売しております。小樽の歴史やガラス産業について事前学習をしていただき、職人の仕事の一部をものづくり体験として楽しく体感することで、小樽をテーマに深い学びにつなげることができます。

### <製作体験の一例>

- ◆ **吹きガラス**… 熱いガラスを吹いてグラス、ジョッキ、浮き玉などを作成します。色や形、模様などもコースによってさまざまです。
- ◆ **とんぼ玉**… ガラスの棒をガスバーナーで溶かし、巻きつけて丸い玉を作ります。ストラップやアクセサリに加工する体験もあります。
- ◆ **サンドブラスト**… 好きなデザインを描いたシートをガラスに貼り、特殊な砂を吹き付け、くもりガラス加工を行います。
- ◆ **ステンドグラス**… 着色ガラスの薄片を結合して、絵や模様を描く体験です。

※体験後、商品が完成するまでにお時間がかかり、製作体験をした作品は後日お手元へ発送となるプログラムもございますので、各施設にご確認ください。

※体験は要予約です。料金等は施設やプログラムにより異なりますのでHP等でご確認ください。

### 《お問い合わせ先》 一般社団法人小樽観光協会

小樽市港町4-3 TEL:0134-33-2510

URL: <https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2021031500107/> (製作体験一覧)

## ■ オルゴール製作体験

- |        |         |          |       |
|--------|---------|----------|-------|
| 小学生向け  | 中学生向け   | 高校生向け    | 一般向け  |
| 祝津エリア  | 手宮エリア   | 色内エリア    | 堺町エリア |
| 天狗山エリア | 小樽築港エリア | 朝里川温泉エリア | 銭函エリア |



小樽のレトロなまちなみの雰囲気合うということで観光客に人気のオルゴールの製作体験ができるのも小樽ならではの、オルゴールのケースに飾り付けをするお手軽な体験から、オルゴールの仕組みと構造が分かるムーブメントの組み立てから飾り付けまでのコースも施設により体験可能です。

※体験は要予約です。料金等は施設やプログラムにより異なりますのでHP等でご確認ください。

《お問い合わせ先》 一般社団法人小樽観光協会 小樽市港町4-3 TEL:0134-33-2510

## ■ 小樽職人の会 製作体験

- |        |         |          |       |
|--------|---------|----------|-------|
| 小学生向け  | 中学生向け   | 高校生向け    | 一般向け  |
| 祝津エリア  | 手宮エリア   | 色内エリア    | 堺町エリア |
| 天狗山エリア | 小樽築港エリア | 朝里川温泉エリア | 銭函エリア |



明治期、北海道経済の中心地であった小樽には各地から最先端の技術を持つ職人も集まっていました。その伝統の技を継ぐ現役の職人が講師として、異世代との交流をしながら、作ることの楽しさを体感できます。



**白磁キーホルダー絵付け**  
丸い白磁に絵付け用の筆で色をのせて焼き付けます。陶器やガラスに絵付けをするチャイナペイントという技法です。絵柄は4種類から選べます。小樽運河の絵柄もあります。お名前やインシヤルを入れることもできます。キーホルダーなので、バッグなどお気に入りの持ち物に付けられます。  
●チャイナペイント アトリエ エムローズ



**モザイクキャンドル作り**  
モザイクキャンドルを作ります。好きな色のハートや星などの蠟とモザイクのブロック蠟を選んで組み合わせます。作品サイズは縦5cm×横5cm×高さ7cmです。7時間くらい灯ります。  
●(株)フジ本芳川商会



**伝統が見える家紋の刷込み**  
約千年の歴史がある家紋、伝統工芸・家紋についての講義と共に、家紋の刷込み・書き紋で職人の技を伝授します。紋を刷り込んだ扇子をお持ち帰りいただけます。※ご自身の家紋をお持ちの方は、事前にお知らせください。  
●千葉忠紋店



**「創意・工夫」純銀の指輪作り**  
デザインリングの制作過程を体験していただきます。完成品はペンダント・リングとしてもお使いいただけます。  
●小樽純銀細工 東雲工房



**伝統の上生菓子作り**  
練り切り船を使って、伝統的な和菓子を4個作ります。作って楽しい、見て美しい、食べておいしい製作体験です。  
●和菓子処 つくし牧田



**美しい輝きの金箔貼りの箸作り**  
本漆で仕上げられた塗り箸に、金箔を貼る体験です。自由な発想で模様を考え、オリジナルの箸を作ります。仏壇製作所の金箔貼り技術をを持った職人が指導します。  
●藤本仏壇製作所



**落款彫刻(篆刻)**  
天然石の端石に自分の名前を篆書体にして彫ります。篆刻は、中国の宋・明より江戸時代に伝えられ、芸術家たちの間で大ブームとなりました。自分だけの印を自分で作ってみませんか? 書道や絵画などの芸術作品に押しつけたり、手紙に押しつけたり、幅広い用途で楽しめます。  
●松田印刷店



**洗染の技 バンダナ染め**  
53cm四方の白生地に、自分だけの色柄染め体験はいかがですか? プチネッカチーフとして身に付けても素敵です。  
●結城屋和服洗染工場



**ステンドグラスのオーナメント**  
ステンドグラスのオーナメントを作ります。好きな色のガラスパーツを選び、半田ごてを使ってガラスを接合します。作品サイズは約8cm×6cmです。  
●ステンドグラス ヴェラビエス



**シラカバで作るフォトスタンド**  
小樽市の木に選定されているシラカバの木を使って、フォトスタンドを作ります。シラカバの幹の断面に開けた穴に、シラカバの板を差し込み、よい塩ふりのものを選んで穴に入るように削ってください。枝の適当な場所に木ねじを埋め込みます。葉の形の木にマグネットをつけ、木ねじにつくようにします。そこにポストカードや写真を挟み、飾ってください。  
●WOOD CRAFT AU・AU



**小さな小樽「あなたの石蔵」作り**  
小樽のまちなみに欠かせない「石蔵」。火災が多かった時代に大切なものを守るため火に強い建材として活躍したのが「軟石」でした。軟らかくて加工しやすい「軟石」を使用。金属のやすりを使い、溝を削って屋根に色を塗って仕上げます。  
●軟石や

※体験は要予約です。料金等はプログラムにより異なりますのでHP等でご確認ください。

体験会場は事務局にて調整させていただきます。

《お問い合わせ先》 小樽職人の会 TEL:0134-33-2339 URL: <https://otaru-shokunin.jp/>



### 【スキー修学旅行】

小樽は日本公式の全国大会が日本ではじめて開かれた場所でもあり、多くのスキー選手を輩出しています。市内に3か所のスキー場があり、海が見えるスキー場が多いのも小樽ならではの。冬の小樽でスキーを体験してみませんか。

## ■ 小樽天狗山スキー場



- 小学生向け 中学生向け 高校生向け 一般向け
- 祝津エリア 手宮エリア 色内エリア 堺町エリア
- 天狗山エリア 小樽築港エリア 朝里川温泉エリア 銭函エリア

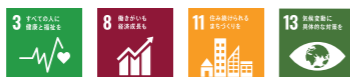
小樽のシンボリック存在のスキー場。全長400mの初心者向けの緩やかなファミリーコースから、全長1,247mの「ロングラインコース」などがあり、小樽港や石狩湾が一望することができます。山頂には小樽スキー資料館（入館無料）もあります。



### 《お問い合わせ先》 小樽天狗山スキー場

小樽市最上2丁目16-15 TEL: 0134-33-7381 URL: <https://tenguyama.ckk.chuo-bus.co.jp/>

## ■ 朝里川温泉スキー場



- 小学生向け 中学生向け 高校生向け 一般向け
- 祝津エリア 手宮エリア 色内エリア 堺町エリア
- 天狗山エリア 小樽築港エリア 朝里川温泉エリア 銭函エリア

初心者コースから上級者コースまで多彩なコースを揃えています。非圧雪ゾーンがあり、自然な地形のパウダースノーを深雪の状態のまま楽しめるコースも。スキー場周辺は温泉地のため、ホテルによってはスキー場まで徒歩でアクセス可能です。

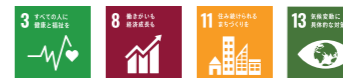


### 《お問い合わせ先》 朝里川温泉スキー場

小樽市朝里川温泉1丁目394 TEL: 0134-54-0101 URL: <https://asari-ski.com/>



## ■ スノークルーズオーズ



- 小学生向け 中学生向け 高校生向け 一般向け
- 祝津エリア 手宮エリア 色内エリア 堺町エリア
- 天狗山エリア 小樽築港エリア 朝里川温泉エリア 銭函エリア

毎日23時まで営業しており、山頂からは石狩湾を一望。海を間近に見る事ができ、昼と夜で違った景色を楽しみながらたっぷりスキー・スノーボードを体験できます。札幌と小樽の中間の位置にあり、札幌自動車道銭函I.C.から5km、JR銭函駅から約3kmとアクセスも便利なスキー場。



### 《お問い合わせ先》 スノークルーズオーズ

小樽市春香町357 TEL: 0134-62-2228 URL: <https://onze.jp/>

## ■ スノーシュー体験



- 小学生向け 中学生向け 高校生向け 一般向け
- 祝津エリア 手宮エリア 色内エリア 堺町エリア
- 天狗山エリア 小樽築港エリア 朝里川温泉エリア 銭函エリア

「かんじき」で、普通なら埋まってしまうような深い雪の上を歩き、お手軽な雪遊びをしてみませんか？森を散策して冬の雄大な大自然を楽しむことができます。※50名程度まで。要予約。



### 《お問い合わせ先》 ウィンケルビレッジ

小樽市朝里川温泉2丁目686 TEL: 0134-52-1185 URL: <http://www.winkel.co.jp/>



## 【小樽で各種イベント・発表を行うなら】

小樽市内でのイベント・発表などにご利用いただける大人数で集まることのできる会場をご紹介します。

※各会場は要予約です。料金・空き状況はHP等でご確認ください。

## ■ 小樽市観光物産プラザ（運河プラザ）三番庫ギャラリー



小学生向け	中学生向け	高校生向け	一般向け
祝津エリア	手宮エリア	色内エリア	堺町エリア
天狗山エリア	小樽築港エリア	朝里川温泉エリア	銭函エリア

小樽市指定歴史的建造物の「小樽倉庫」の一部という特別な空間であり、小樽運河に面した絶好のロケーションです。

《お問い合わせ先》 運河プラザ指定管理担当事務所

小樽市色内2丁目1-20 TEL:0134-64-1672

URL: <https://otaru.gr.jp/kankokyokai/guide#plaza3>



## ■ 小樽市民センター



小学生向け	中学生向け	高校生向け	一般向け
祝津エリア	手宮エリア	色内エリア	堺町エリア
天狗山エリア	小樽築港エリア	朝里川温泉エリア	銭函エリア

座席数453席のマリンホールでは、演奏会・演劇・発表会・講演会など多種多様な催事を展開可能です。また、会議室もございますので、小規模の集まりにもご利用いただけます。

《お問い合わせ先》 小樽市民センター

小樽市色内2丁目13-5 TEL:0134-25-9900 URL: <https://www.otarushiminkaikan.jp/center/>



## ■ 小樽市民会館



小学生向け	中学生向け	高校生向け	一般向け
祝津エリア	手宮エリア	色内エリア	堺町エリア
天狗山エリア	小樽築港エリア	朝里川温泉エリア	銭函エリア

座席数1216席の市内最大のホールを有し、会議室や展示ホールなども完備。小樽市の成人式も開催される会場で、各種演奏会・講演会にご利用いただけます。

《お問い合わせ先》 小樽市民会館

小樽市花園5丁目3-1 TEL:0134-25-8800 URL: <https://www.otarushiminkaikan.jp/shimin/>



## ■ 小樽市公会堂



小学生向け	中学生向け	高校生向け	一般向け
祝津エリア	手宮エリア	色内エリア	堺町エリア
天狗山エリア	小樽築港エリア	朝里川温泉エリア	銭函エリア

明治44年、皇太子（後の大正天皇）の本道行啓に際してのご宿泊所として建てられ、市民会館建設に伴い、昭和35年に現在地に移築されました。和室・茶室やホール、会議室の他、夏季は能舞台も利用可能です。

《お問い合わせ先》 小樽市公会堂

小樽市花園5丁目2-1 TEL:0134-22-2796 URL: <https://www.otarushiminkaikan.jp/koukai/>



## ■ 小樽経済センター



小学生向け	中学生向け	高校生向け	一般向け
祝津エリア	手宮エリア	色内エリア	堺町エリア
天狗山エリア	小樽築港エリア	朝里川温泉エリア	銭函エリア

JR小樽駅から徒歩5分ほどの好立地！最大200名収容可能なホールや会議室がございます。各種セミナー・講演会等にご利用いただけます。

《お問い合わせ先》 小樽商工会議所

小樽市稲穂2丁目22-1

TEL:0134-22-1177 URL: <https://otarucci.jp/rentalroom/>



# 泊

## オーセントホテル小樽

〒047-0032 北海道小樽市稲穂2丁目15-1  
TEL: 0134-27-8100 FAX: 0134-27-4404

小樽駅より徒歩5分の好立地、小樽運河や観光のメインストリート堺町周辺までも徒歩10～15分です。駅近くのアーケード街に面しているため、観光地だけではなく、地元の商店街の雰囲気も感じられます。



教育旅行受け入れ	小学校/中学校/高校/特別支援学校 最大80名まで	
入・退館式	ロビー または 宴会場	
班長・室長会議	ロビーラウンジ または 宴会場	
教員ミーティング	ロビーラウンジ または 宴会場	
鍵の種類	シリンダーキー	
マスターキー	貸し出し 不可	
ドア	オートロック	
食事内容	夕食/セットメニュー	朝食:セットメニュー
食事会場	夕食/セットメニュー (営業時間 17:30～)	朝食:セットメニュー (営業時間 07:00～ 応相談)
レクリエーション会場	■場所/宴会場 ■設備/マイク・いす ■無料	
入浴	部屋風呂利用 / 大浴場使用不可	
アメニティ	フェイスタオル・バスタオル・歯ブラシセット・シャンプー・コンディショナー・ドライヤー・ボディソープ・フェイス&ハンドソープ・シャワーキャップ・綿棒・スリッパ ※生徒様のお部屋は、かみそりは撤去しています	
貴重品	貴重品袋を用意、フロント預かり	
客室内設備	■電話/内線(カット可) ・ 外線(カット可) ■冷蔵庫/中身は空 ■TV/有料放送なし	
モーニングコール		
枕の素材	パイプ/羽毛/綿	
自動販売機	ソフトドリンク・アルコール(張り紙対応 可)	
売店	■場所/1階 ■営業時間/10:00～16:00	
宿泊フロア数	1フロア 25室(47名)/フロアにより多少前後あり	
館内移動方法	■エレベーター利用/2基(定員15名)	

## ホテルソニア小樽

〒047-0031 北海道小樽市色内1丁目4-20  
TEL: 0134-23-2600 FAX: 0134-23-1001

小樽運河前に建つヨーロップ風のホテル。客室やロビーはアンティーク家具や照明で飾られ、運河側の客室からの港や運河の夜景は絶品です。



教育旅行受け入れ	小学校/中学校/高校/特別支援学校 最大100名まで	
入・退館式	ロビー(大人数の場合は実施不可)	
班長・室長会議	南館1Fカフェ	
教員ミーティング	南館1Fカフェ	
鍵の種類	カードキー	
マスターキー	利用部屋セカンドキー用意可	
ドア	オートロック	
食事内容	夕食/セットメニュー(30名程度)	朝食:バイキング
食事会場	夕食/北館1FレストランLONAI(イルオナイ) (営業時間 17:30～)	朝食:北館1FレストランLONAI(イルオナイ) (営業時間 6:00～10:00 ラストオーダー 9:30 席アロク希望の場合は 6:00～入込 30名程度交代制)
レクリエーション会場	■場所/なし	
入浴	大浴場(場所:本館7F※生徒利用不可・引率可) 貸切不可/部屋風呂利用 大浴場の時間:①15:00～24:00 6:00～10:00	
アメニティ	フェイスタオル・バスタオル・歯ブラシセット・シャンプー・コンディショナー・ドライヤー・ボディソープ・フェイス&ハンドソープ・綿棒・スリッパ ※生徒様のお部屋は浴衣・かみそりは撤去しています	
貴重品	各部屋の金庫利用	
客室内設備	■電話/内線(カット不可) ・ 外線(カット不可) ■冷蔵庫/中身は空 ■TV/有料放送なし	
モーニングコール	可	
枕の素材	羽毛	
自動販売機	ソフトドリンク・アルコール	
売店	■場所/なし	
宿泊フロア数	1フロア南館5室/北館7室/本館11室 ※学生団体は北館・南館を主に利用します	
館内移動方法	■エレベーター利用/南・北館1基ずつ(定員6～7名程度) エレベーター利用不可	

## 小樽港マリーナ



- 小学生向け 中学生向け 高校生向け 一般向け
- 祝津エリア 手宮エリア 色内エリア 堺町エリア
- 天狗山エリア 小樽築港エリア 朝里川温泉エリア 銭函エリア

オーシャンビューのホールで、発表会や講演会はいかがでしょう?建物のすぐそばは港で、ヨットハーバーにもなっています。ホールと会議室がございますので、用途・人数に応じてご利用ください。



《お問い合わせ先》小樽港マリーナ

小樽市築港5-7 TEL: 0134-22-1311 URL: <https://www.mw-otaru.jp/guide/hall/>

## 小樽市いなきたコミュニティセンター



- 小学生向け 中学生向け 高校生向け 一般向け
- 祝津エリア 手宮エリア 色内エリア 堺町エリア
- 天狗山エリア 小樽築港エリア 朝里川温泉エリア 銭函エリア

体育室、集会室、和室、調理実習室がございますので、体験学習・レクリエーション会場等にもご利用いただけます。



《お問い合わせ先》小樽市いなきたコミュニティセンター

小樽市稲穂5丁目10-1(いなきたビル4.5階)

TEL: 0134-27-7676 URL: <http://otaruinakita.com/index.html>



## ホテルノルド小樽

〒047-0031 北海道小樽市色内1丁目4-16  
TEL: 0134-24-0500 FAX: 0134-24-1085

イタリア語で「北」という意味を持つ当ホテルは名前のとおり小樽運河前に佇むヨーロピアン調のホテルです。外観は石造りの街並みに溶け込むよう大理石としました。重厚な威厳を感じる建物です。歴史的な建造物や港が近く、北海道の歴史と文化、自然を学ぶには最適なロケーション。充実した設備とサービスで、大切な教育活動の一環である修学旅行を心をこめてバックアップいたします。

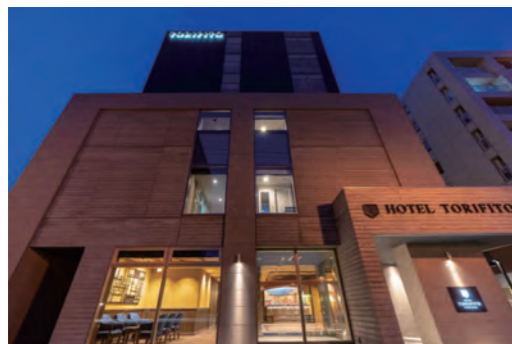


教育旅行受け入れ	小学校/中学校/高校/特別支援学校 最大150名まで	
入・退館式	ロビー	
班長・室長会議	宴会場(要予約)	
教員ミーティング	宴会場(要予約)	
鍵の種類	カードキー	
マスターキー	貸し出し 不可	
ドア	オートロック	
食事内容	夕食/ブッフェ(出し切り)	朝食:ブッフェ
食事会場	夕食/2F レストラン・宴会場 (営業時間 18:00~19:30)	朝食:2F レストラン (営業時間 7:00~9:30)
レクリエーション会場	■場所/宴会場(内容によっては不可) ■設備/マイク・いす ■有料	
入浴	大浴場(場所:なし) 貸切可能・不可/部屋風呂利用	
アメニティ	フェイスタオル・バスタオル・歯ブラシセット・シャンプー・コンディショナー・ドライヤー・ボディソープ・フェイス&ハンドソープ・シャワーキャップ・綿棒・スリッパ ※生徒様のお部屋は浴衣・かみそりは撤去しています	
貴重品	各部屋の金庫利用/貴重品袋を用意、フロント預かり	
客室内設備	■電話/内線(カット不可) ・ 外線(カット可) ■冷蔵庫/中身は空 ■TV/有料放送なし	
モーニングコール	要連絡	
枕の素材	羽毛	
自動販売機	ソフトドリンク・アルコール・たばこなし(張り紙対応 可)	
売店	■場所/なし	
宿泊フロア数	1フロア 25室	
館内移動方法	■エレベーター利用/2基(定員15名) エレベーター利用可(12/22) 非常階段推奨	

## ホテル・トリフィート小樽運河

〒047-0031 北海道小樽市色内1丁目5-7  
TEL: 0134-20-2200 FAX: 0134-20-2201

「小樽モダン」が感じられる、小樽らしさを詰め込んだ、ノスタルジックでバリエーション豊かなお部屋タイプが多くあり、かなり小規模になりますが、古き良き銭湯を彷彿させる男女別の大浴場もございます。小樽運河などの人気観光スポットが徒歩5分ほどでアクセス可能です。



教育旅行受け入れ	小学校/中学校/高校 最大40名まで	
入・退館式	ロビー	
班長・室長会議	レストラン ※営業時間外に限る	
教員ミーティング	レストラン ※営業時間外に限る	
鍵の種類	カードキー	
マスターキー	貸し出し 不可	
ドア	オートロック	
食事内容	夕食/なし	朝食:ブッフェ
食事会場	夕食/	朝食:1F レストラン (営業時間 6:30~10:00 ラストオーダー 9:30)
レクリエーション会場	■場所/なし	
入浴	大浴場(場所:1F) 貸切不可/部屋風呂利用 大浴場の時間:①15:00~25:00 ②6:00~10:00 洗い場の数:6か所	
アメニティ	フェイスタオル・バスタオル・歯ブラシセット・シャンプー・コンディショナー・ドライヤー・ボディソープ・フェイス&ハンドソープ・綿棒・スリッパ ※生徒様のお部屋は浴衣・かみそりは撤去しています タオル・スリッパ以外はアメニティーバー	
貴重品	各部屋の金庫利用	
客室内設備	■電話/内線(カット不可) ・ 外線(利用不可) ■冷蔵庫/中身は空 ■TV/有料放送なし	
モーニングコール	可	
枕の素材	羽毛	
自動販売機	ソフトドリンク・アルコール(張り紙対応 不可)	
売店	■場所/なし	
宿泊フロア数	1フロア36~45名	
館内移動方法	■エレベーター利用/2基(定員6名) エレベーター利用不可	

## グランドパーク小樽

〒047-0008 北海道小樽市築港11-3  
TEL: 0134-21-3111 FAX: 0134-21-3322

小樽港マリーナに面した18階建のベイリゾートホテル。客室は海側のオーシャンビューと山側のマウンテンビューの2つがあり、どちらも眺望が素晴らしく、全ての部屋が32㎡以上あり、上品なインテリアとともにおちついた雰囲気です。2階にはマリーナが見えるレストランがあります。また、400名収容の大宴会場を備え、大小8つの会場があります。※現在、新型コロナ対策の為、400名収容の所、約180名様を上限に会場を使用しております。



教育旅行受け入れ	小学校/中学校/高校 最大300名まで	
入・退館式	ロビー 生徒代表者のみ対応可	
班長・室長会議	ホテルチャペル無料提供(婚礼等の事由により、使用できない場合がございます)	
教員ミーティング	ホテルチャペル無料提供(婚礼等の事由により、使用できない場合がございます)	
鍵の種類	カードキー (1部屋1枚)	
マスターキー	フロア専有時:フロアマスター1枚/フロア非専有時:3部屋毎1枚	
ドア	オートロック	
食事内容	夕食/食べ切り ビュッフェスタイル	朝食:食べ切り ビュッフェスタイル
食事会場	夕食/5階 宴会場 (営業時間 要相談)	朝食:5階 宴会場 (営業時間 要相談)
レクリエーション会場	■食事会場内(基本食事会場をそのまま利用、但し利用時間は食事と合わせて2時間まで) ■設備/マイク・いす	
入浴	大浴場なし 部屋風呂利用	
アメニティ	フェイスタオル・バスタオル・歯ブラシセット・シャンプー・コンディショナー・ドライヤー・ボディソープ・スリッパ ※浴衣・灰皿撤去しています	
貴重品	各部屋にセーフティボックス設置 4桁の暗証番号式	
客室内設備	■電話/内線(カット不可) ・ 外線(カット可) ■冷蔵庫/中身は空 ■TV/有料放送なし	
モーニングコール	可	
枕の素材	ポリエステル綿	
自動販売機	ソフトドリンク・アルコール(フロア専有階のみカット可)	
売店	■場所/なし	
宿泊フロア数	教育旅行では9階~5フロア	
館内移動方法	■エレベーター利用:24名乗り 3基	

## 小樽朝里クラッセホテル

〒047-0154 北海道小樽市朝里川温泉2丁目676  
TEL: 0134-52-3800 FAX: 0134-52-3888

小樽の奥座敷、朝里川温泉に位置するリゾートホテル。キャンドルが灯された吹き抜けのロビー、イルミネーション瞬く岩造りの露天風呂など癒しの空間が広がります。小樽市内より車で20分、札幌市内まで高速経由で40分、新千歳空港まで高速経由で75分とアクセスも観光も便利です。温泉大浴場、露天風呂、スポーツアリーナなど、充実した施設を完備しています。徒歩10分程度にスキー場があり、スキー修学旅行にも最適です。



教育旅行受け入れ	小学校/中学校/高校/特別支援学校 最大250名まで	
入・退館式	プラザ棟1階「ロビー」	
班長・室長会議	プラザ棟1階「メリテ」	
教員ミーティング	プラザ棟1階「メリテ」	
鍵の種類	シリンダー式	
マスターキー	貸し出し 不可	
ドア	オートロック	
食事内容	夕食/ビュッフェ(一部メニュー制限あり)	朝食:ビュッフェ(一部メニュー制限あり)
食事会場	夕食/プラザ棟2階「ナハイヤ・フーシー」 営業時間 17:00~18:30 左記スタート時間	朝食:プラザ棟2階「ナハイヤ・フーシー」 営業時間 7:00~8:00
レクリエーション会場	■場所:アリーナ ■設備:無料/マイク1本・ホワイトボード 有料/プロジェクター・スクリーン	
入浴	■大浴場(場所/プラザ棟1階) 貸切 男女60名以上で可/部屋風呂利用可 ■大浴場の時間/17:00~21:00(左記時間内で1時間程度) ■洗い場の数/男・女 17箇所	
アメニティ	フェイスタオル・バスタオル・歯ブラシ・シャンプー・コンディショナー・ボディソープ・ハンドソープ・スリッパ・ドライヤー ※生徒様のお部屋は浴衣・かみそりは撤去しています	
貴重品	各部屋の金庫を利用/貴重品袋も用意可、フロント預かり可	
客室内設備	■電話/内線(カット不可) ・ 外線(カット可) ■冷蔵庫/中身は空 ■TV/有料放送なし	
モーニングコール	ホテル側で設定可	
枕の素材	パイフ/羽毛/綿	
自動販売機	ソフトドリンク・アルコール(張り紙対応 可)	
売店	■場所/プラザ棟1階「ドルイド」 ■営業時間/8:45~10:30/12:00~20:00	
宿泊フロア数	基本:1フロア12室 32~35名 ※使用するフロアで数名変動あり	
館内移動方法	■エレベーター利用:2基(定員4~6名) ※低層階2~4階の生徒様は混雑緩和の為、非常階段使用の場合もあり。	



## ホテル武蔵亭

〒047-0154 北海道小樽市朝里川温泉2丁目686-4  
TEL: 0134-54-8000 FAX: 0134-52-4733

スキー場へは、徒歩10～15分でゲレンデに行くことができます。夕朝食共に、セットメニューでの提供となりますが、多くのお客様にご好評を頂いております。観光地へもバスで約20分と便利です。



教育旅行受け入れ	小学校/中学校/高校/特別支援学校 最大184名まで	
入・退館式	人数によって	
班長・室長会議	2階ラウンジまたは2階コンベンションホール	
教員ミーティング	3階藤の間	
鍵の種類	シリンダーキー	
マスターキー	貸し出し 可	
ドア	オートロック	
食事内容	夕食/セットメニュー	朝食:セットメニュー
食事会場	夕食/3階(人数により変更有) (営業時間 要相談)	朝食:3階 (営業時間 要相談)
レクリエーション会場	■場所:要相談 ■設備:マイク・いす ■無料	
入浴	大浴場(1階 貸切 要相談)/部屋風呂利用:お部屋にある場合のみ利用可 大浴場の時間:5時~24時 洗い場の数:13カ所	
アメニティ	フェイスタオル・バスタオル・歯ブラシセット・シャンプー・コンディショナー・ドライヤー・ボディソープ・フェイス&ハンドソープ・綿棒・スリッパ ※生徒様のお部屋は、かみそりは撤去しています	
貴重品	各部屋の金庫利用可/貴重品袋用意、フロント預り可	
客室内設備	■電話/内線(カット不可) ・ 外線(カット可) ■冷蔵庫/中身は空 ■TV/有料放送なし	
モーニングコール	対応可能	
枕の素材	パイプ/羽毛/そば殻	
自動販売機	ソフトドリンク	
売店	■場所/2階 ■営業時間/15:00~21:00、7:00~10:00	
宿泊フロア数	1フロア 12室(和室10部屋 洋室2部屋 44名~64名)	
館内移動方法	■エレベーター利用:可 1基(定員13名)	

# 日本遺産を活用した 小樽教育旅行 モデルコース

小樽は豊かな自然と歴史を感じながら楽しく散策できるまちです。夏のマリンレジャー、秘境へのクルーズ観光。冬はスキーや雪遊びなど、四季を通して楽しめる小樽ですが、観光で来られる多くのお客様の楽しみは歴史あるまちなみを散策することです。

今回は、おもに小樽の歴史にまつわるコースの一例をご紹介します。ゆっくりと小樽のまちなみを散策し、自分たちの住むまちとの比較や、ふるさと再発見のためにぜひご利用ください。

### ◆ 記号

- 指 小樽市指定歴史的建造物
- 大 大正期の建築
- 明 明治期の建築
- 江 江戸時代の建築
- 昭 昭和期の建築
- 炭 日本遺産炭鉄港構成文化財
- 北 日本遺産北前船構成文化財

- ◆ 掲載のコースは所要時間を概ね2時間以内で設定しています。  
滞在時間に合わせて散策行程を変えることができます。
- ◆ 散策時に観光ガイド(ガイド検定有資格者)が同行し、  
解説することもできます(事前予約・有料)

徒歩コース 《所要時間》運河プラザ発着で約60分～90分

## 01 日本で一流の建築家が建てた小樽の銀行街



明治から昭和初期に創建された重厚な建物が残る小樽。その中でも工部大学校造家学科(現東京大学工学部)1期生4名の内、3名の建物が小樽に現存しています。旧日本郵船(株)小樽支店、日本銀行旧小樽支店、旧三井銀行小樽支店を設計した人物とは。一流の建築家の作品がなぜ小樽にあるのか。紐解いていくと当時の小樽と日本が見えてきます。その他にも、旧北海道銀行本店、旧北海道拓殖銀行小樽支店、旧第一銀行小樽支店、旧三菱銀行小樽支店など、明治期、大正期、昭和期の第一級の建築が建ち並ぶ銀行街はなぜできたのかを調べてみましょう。

- ▼ 旧小樽倉庫(運河プラザ) …色内大通りの交差点方向へ **指明北**
- ▼ 旧安田銀行小樽支店 **指昭** …堺町通り方向へ向かう
- ▼ 旧第四十七銀行小樽支店 **指昭**
- ▼ 旧塚本商店 **指大**
- ▼ 旧小樽商工会議所 **指昭**
- ▼ 旧三井銀行小樽支店(国指定重要文化財) **昭**
- ▼ 旧越中屋ホテル **指昭**
- ▼ 旧北海道拓殖銀行小樽支店 **指大**
- ▼ 旧三菱銀行小樽支店 **指大炭**
- ▼ 旧第一銀行小樽支店 **指大**
- ▼ 旧北海道銀行本店 **指明**
- ▼ 日本銀行旧小樽支店(小樽市指定有形文化財) **明**
- ▼ 旧三井物産小樽支店 **指昭炭**
- ▼ 旧小樽地方貯金局 **昭**

- ▼ 手宮線跡 **炭**
- ▼ 旧小樽倉庫(運河プラザ)着 **指明北**

もう一度、調べたことを振り返り、運河プラザへ戻る

※国の重要文化財…旧日本郵船(株)小樽支店は運河プラザより北側に徒歩約10分です。(現在修復中につき当面見学不可) 今回のコースとは反対方面となります。

徒歩コース 《所要時間》運河プラザ発着で約90分。小樽市総合博物館運河館見学含む

## 03 小樽運河と石造倉庫



小樽観光の人気スポット小樽運河。現在の姿になるまでの昭和の運河保存運動は小樽の現代史となりました。そして、小樽が「観光都市」となったのは、これが契機といえます。大正時代の運河建設の目的と、その後、埠頭建設による運河の衰退、昭和後期の道路建設による運河埋め立て計画、10年におよぶ運河保存運動など小樽運河には様々な歴史があります。観光ポイントとなっている運河の南側半分と昭和の埋め立て前の姿がわかる北側を比較し、小樽の港の発展と大正期の運河建設の目的を調べます。

- ▼ 旧小樽倉庫(運河プラザ) **指明北**
- ▼ 小樽市総合博物館運河館見学(30分) **指明北**
- ▼ 浅草橋
- ▼ 旧浪華倉庫 **指大**
- ▼ 旧篠田倉庫 **指大**
- ▼ 中央橋
- ▼ 運河散策路
- ▼ 旧北海製罐倉庫(株) **指大**
- ▼ 旧大家倉庫 **指明北**
- ▼ 旧前掘商店 **指昭**
- ▼ 旧早川支店 **指明**
- ▼ 旧磯野支店倉庫 **指明**
- ▼ 出抜き小路
- ▼ 旧小樽倉庫(運河プラザ)着 **指明北**

徒歩コース 《所要時間》運河プラザ発着で約60分～90分

## 02 小樽の観光スポットは歴史的建造物を再生活用する通り



小樽観光の人気スポット堺町通り。実は今の小樽観光の始まりの場所でもあります。その先駆けとなったのが、北一硝子3号館。かつて海産商を営んでいた木村円吉の古い木骨石造倉庫を再利用し、小樽で硝子のギャラリーを始めたのが昭和58(1983)年。たちまち人気となりました。

以前は問屋街だった堺町通りは北一硝子をはじめ、古い建物を再生活用したショップが軒を連ね一大観光地となっています。

※このコースには小樽市指定歴史的建造物が21棟あります。

- ▼ 旧小樽倉庫(運河プラザ) …色内大通りの交差点方向へ **指明北**
- ▼ 旧安田銀行小樽支店 **指昭** …堺町通り方向へ向かう
- ▼ 旧第四十七銀行小樽支店 **指昭**
- ▼ 旧塚本商店 **指大**
- ▼ 旧小樽商工会議所 **指昭**
- ▼ 旧三井銀行小樽支店(国指定重要文化財) **昭**
- ▼ 旧越中屋ホテル **指昭**
- ▼ 旧北海道拓殖銀行小樽支店 **指大**
- ▼ 旧三菱銀行小樽支店 **指大炭**
- ▼ 旧第一銀行小樽支店 **指大**
- ▼ 旧名取高三郎商店 **指明**
- ▼ 旧百十三銀行小樽支店 **指明**
- ▼ 旧金子元三郎商店 **指明**
- ▼ 旧岩永時計店 **指明**

- ▼ 旧百十三国立銀行小樽支店 **指明**
- ▼ 旧北海雑穀(株) **指明**
- ▼ 旧久保商店 **指明**
- ▼ 旧木村倉庫 **指明**
- ▼ 旧戸出物産小樽支店 **指大**
- ▼ 旧中越銀行小樽支店 **指大**
- ▼ 旧上勢友吉商店 **指大**
- ▼ 旧共成株式会社 **指大**
- ▼ 旧小樽倉庫(運河プラザ)着 **指明北**

ガラス工芸 体験POINT

コース内にはバーナーワーク・とんぼ玉づくり・サンドブラストなどのガラス工芸体験ができる店舗があります。所要時間や料金は異なりますので事前に確認してください。

徒歩コース 《所要時間》運河プラザ発着で約90分。小樽市総合博物館運河館見学含む

## 04 小樽商人が築いた小樽のまちなみ



鯨漁や北前船の交易で発展した小樽は商業と港湾のまちとなっていきます。本州との交易や鉄道開通による物流で多くの商人たちが活躍し、やがて北日本で栄える代表的なまちとなりました。その当時活躍した商人たちの建物の多くは現在、観光資源となり再生活用されています。レトロなまちなみを醸し出す色内大通り、堺町通り。かつて、その建物は何を営んでいたものなのか。創建時の用途を調べることで当時のまちの様子を知ることができます。

- ▼ 小樽市総合博物館運河館見学(30分) **指明北**
- ▼ 旧大家倉庫 **指明北**
- ▼ 旧前掘商店 **指昭**
- ▼ 旧早川支店 **指明**
- ▼ 旧磯野支店倉庫 **指明**
- ▼ 旧安田銀行小樽支店 **指昭**
- ▼ 旧第四十七銀行小樽支店 **指昭**
- ▼ 旧塚本商店 **指大**
- ▼ 旧小樽商工会議所 **指昭**
- ▼ 旧三井銀行小樽支店(国指定重要文化財) **昭**
- ▼ 旧越中屋ホテル **指昭**
- ▼ 旧北海道拓殖銀行小樽支店 **指大**
- ▼ 旧三菱銀行小樽支店 **指大炭**
- ▼ 旧第一銀行小樽支店 **指大**
- ▼ 旧荒田商会 **指昭**
- ▼ 旧高橋倉庫 **指大**
- ▼ 旧嶋谷倉庫 **指明**
- ▼ 旧小樽倉庫(運河プラザ)着 **指明北**

ガラス・革小物 体験POINT

コース内には、吹きガラス、サンドブラスト、革小物づくりなど気軽に体験できる店舗があります。所要時間や料金は異なりますので事前に確認してください。



バス移動+徒歩コース 《所要時間》小樽市鯨御殿スタートで約90分~120分

## 05 鯨漁場探索 … 番屋と漁家建築



小樽の祝津地区にはかつて鯨漁で栄えた時代の漁家建築が建ち並び、北海道一の鯨番屋街道と呼ばれています。鯨がたくさん獲れたことでなぜ、まちが発展していったのでしょうか。日和山灯台横の小樽市鯨御殿(泊村より移築)内には、当時使われていた実物の漁具も展示されており、漁場で働いていた漁夫たちの様子を想像することができます。また、茨木家中出張(なかでばり)番屋は内部を公開(夏期・有料)しており、漁夫たちの生活を知ることができます。番屋の裏山には江戸末期に創建された恵美須神社があり、漁場の守護神として村を守っていました。このコースは明治、大正期の北海道の鯨漁を代表する祝津地区の鯨漁の遺構を見学し、かつての漁夫や親方の暮らしを調べ、鯨漁が果たした役割を調べます。

- ▼ 祝津パノラマ展望台
- ▼ 小樽市鯨御殿(有料)(北海道指定有形文化財) **明**
- ▼ 日和山灯台 **北**
- ▼ 旧白鳥家番屋 **指明**
- ▼ 茨木家中出張(なかでばり)番屋(高校生以上有料) **明**
- ▼ 恵美須神社 **指江北**
- ▼ 旧青山別邸(有料)(国登録有形文化財) **大**
- ▼ バスに戻る

### おすすめPOINT

時間がある方にはおたる水族館がおすすめ!「海獣公園」は、海を仕切っただけの自然に近い豪快なプール。トド、セイウチ、イルカのショーをはじめ、見どころ満載!

徒歩コース 《所要時間》運河プラザ発着で約90分~120分。小樽市総合博物館運河館見学含む

## 07 日本遺産「北前船」倉庫群と歴史の宝庫「北運河」



日本遺産「北前船」構成文化財で、小樽にあるものと他のまちの構成文化財との違いは、北前船主の大きな木骨石造倉庫。他の寄港地でこれほど大きな倉庫を見ることはできません。しかも北前船主3人の倉庫が並んで現存している姿は圧巻です。このコースは珍しい倉庫群と北運河の旧日本郵船(株)小樽支店(国の重要文化財)と船入潤跡、小樽港建設に貢献した廣井勇先生、伊藤長右衛門先生の銅像などを一ヶ所の公園内で見ることができます。北運河は明治、大正の小樽の歴史を知ることができる貴重なエリアです。

- ▼ 小樽市総合博物館運河館見学(30分) **北**
- ▼ 旧小樽倉庫(運河プラザ) **指明北**
- ▼ 旧大家倉庫 **指明北**
- ▼ 旧北海製罐倉庫(株) **指大**
- ▼ 旧濫澤倉庫 **指明**
- ▼ 北浜橋
- ▼ 旧増田倉庫 **指明北**
- ▼ 旧広海倉庫 **指明北**
- ▼ 旧右近倉庫 **指明北**
- ▼ 運河公園内
- ▼ 廣井勇像
- ▼ 日本郵船船入潤跡
- ▼ 伊藤長右衛門像
- ▼ 旧日本石油(株)倉庫 **指大**
- ▼ 旧日本郵船(株)小樽支店(国指定重要文化財) **明**
- ▼ 旧日本郵船(株)小樽支店残荷倉庫 **指明**
- ▼ 手宮線跡…ここで折り返し炭
- ▼ 田中酒造店 **指昭**
- ▼ 旧前掘商店 **指昭**
- ▼ 旧早川支店 **指明**
- ▼ 旧磯野支店倉庫 **指明**
- ▼ 旧安田銀行小樽支店 **指昭**
- ▼ 旧小樽倉庫(運河プラザ)着 **指明北**

### 小樽運河クルーズに乗船してみよう!

運河の水面近くから見る石造倉庫。かつて北前船の船乗りたちは、この石造倉庫を目印に沖からやってきた。船からの景色は一味違います。船長の楽しいガイドで40分のクルーズ。おすすめです。

徒歩コース 《所要時間》運河プラザ発着で約90分~120分。小樽市総合博物館運河館見学含む

## 06 日本遺産「北前船」と小樽のまちなみ



小樽は日本遺産「北前船」に認定されたまちです。観光地の中心に位置する小樽市観光物産プラザ(運河プラザ)は石川県出身の北前船主が建てた倉庫。倉庫の構造とともに大きな空間を体感することができます。また同じ倉庫内には小樽市総合博物館運河館があり、北前船による交易の記録や北海道に持ち込まれた文化などを知ることができます。日本海の動く総合商社と呼ばれた北前船が北海道に果たした役割と北海道開拓にどのように貢献したのかを調べます。まちの中心部に残る構成文化財と周辺のまちなみを散策します。

- ▼ 小樽市総合博物館運河館見学(30分) **指明北**
- ▼ 旧小樽倉庫(運河プラザ) **指明北**
- ▼ 旧大家倉庫 **指明北**
- ▼ 堺町通りへ…色内大通りから堺町通りへ行き、「たけの寿司」横の坂道(見晴らし坂)を上り水天宮境内へ。(約15分)
- ▼ 水天宮 **指大**  
…坂道を下り、堺町通りへ出て、オルゴール堂方面へ行きます。
- ▼ 旧魁陽亭 **指明北**…現在改修中のため見学不可
- ▼ 旧小樽倉庫(運河プラザ)着 **指明北**

### 時間のある場合のおすすめポイント

北前船構成文化財のなかに、住吉神社があります。旧魁陽亭からさらに10分ほどで行くことができます。国道からすぐの所に大鳥居がありますが、これは北前船主の大家七平と広海二三郎が寄進したもので、岡山県産の花崗岩で作られ、1899(明治32)年に大阪から運ばれています。名前が刻まれているのでご覧ください。また境内には船乗りたちが寄進した手水鉢もあります。

バス移動+徒歩コース 《所要時間》小樽市総合博物館本館スタートで約120分。小樽市総合博物館本館見学含む

## 08 日本遺産「炭鉄港」… 幌内鉄道の起点と日本最古の機関車庫



幌内鉄道の起点は小樽市手宮。現在、小樽市総合博物館本館構内には「北海道鉄道開通起点」(通称ゼロマイルポイント)があります。また国の重要文化財に指定されている日本最古の機関車庫が現存しており、重厚なレンガ造りの建物は必見。機関車庫の前には転車台があり構内を走るアイアンホース号が今も方向転換しています。館内には幌内鉄道で活躍した「しづか号」も展示され、運転席に乗ることもできます。北海道の鉄道に関する様々な資料が揃う博物館です。日本の近代化を後押しした空知の石炭と積出港の手宮まで運んだ鉄道の歴史を調べます。このコースは、小樽まで移動してきたバスで博物館下車。見学後バスで銀行街の旧手宮線から徒歩の散策となります。

- ▼ 小樽市総合博物館本館(高校生以上有料)40分 **炭**
- ▼ 手宮線跡(文学館前までバス移動) **炭**
- ▼ 旧小樽地方貯金局 **昭**
- ▼ 旧三井物産小樽支店 **指昭炭**
- ▼ 日本銀行旧小樽支店(小樽市指定有形文化財) **明**
- ▼ 旧北海道銀行本店 **指明**
- ▼ 旧第一銀行小樽支店 **指大**
- ▼ 旧三菱銀行小樽支店 **指大炭**
- ▼ 旧北海道拓殖銀行小樽支店 **指大**
- ▼ 旧越中屋ホテル **指昭**
- ▼ 旧三井銀行小樽支店(国指定重要文化財) **昭**
- ▼ 旧小樽商工会議所 **指昭**
- ▼ 旧塚本商店 **指大**
- ▼ 旧第四十七銀行小樽支店 **指昭**
- ▼ 旧安田銀行小樽支店 **指昭**
- ▼ 旧小樽倉庫(運河プラザ)着 **指明北**

バス移動+徒歩コース 《所要時間》おたるみなと資料館スタートで約120分～

## 09 日本遺産「炭鉄港」…世界に誇れる小樽港。廣井勇氏と伊藤長右衛門氏



- ▼ 小樽港湾事務所みなとの資料コーナー(無料) 30～40分
- ▼ 旧日本郵船(株)小樽支店 (国指定重要文化財) **明**
- ▼ バス移動で運河公園(北運河)
- ▼ 旧日本郵船(株)小樽支店 残荷倉庫 **指明**
- ▼ 廣井勇像
- ▼ 旧増田倉庫 **指明北**
- ▼ 日本郵船船入潤跡
- ▼ 旧広海倉庫 **指明北**
- ▼ 伊藤長右衛門像
- ▼ 旧右近倉庫 **指明北**
- ▼ 旧日本石油(株)倉庫 **指大**
- ▼ バスへ

このコースはバス移動で小樽築港の「おたるみなと資料館」を見学します。通常の修学旅行のコースに入っていないこの資料館には小樽港の歴史や小樽港の防波堤に関する情報・資料を展示している資料館です。小樽港を囲う巨大な防波堤がどのように造られたのかを詳しく知ることができます。初代築港事務所長の廣井勇氏によるコンクリート長期耐久性試験用のモルタルブリケット(試験供試体)とその強度の測定に使用されている試験機や、第3代築港事務所長、伊藤長右衛門氏による世界初と言われているケーソン製作用斜路の模型など、歴史的価値のあるものが展示されています。

鉄道とともに小樽の発展に大きく貢献した港の建設。炭鉄港の構成文化財の中でもなかなか見る機会が少ないのが小樽港です。見学後、バス移動し運河公園で銅像と運河見学。

※時間がある場合は第3号埠頭から出る屋形船に乗船し、北防波堤の特徴であるコンクリートの斜め積みを実際に見ることができます。

※手宮緑化植物園(小樽市手宮3-12-1)からは北防波堤が見えます。

徒歩コース 《所要時間》運河プラザ発着で約60分～90分

## 10 日本遺産「炭鉄港」の構成文化財で小樽の食を探る…市場が文化財?



- ▼ 旧小樽倉庫(運河プラザ) **指明北**
- ▼ 三角市場
- ▼ 旧安田銀行小樽支店 **指昭**
- ▼ 龍宮神社 **昭**
- ▼ 手宮線跡 **炭**
- ▼ JR小樽駅 **昭** (国登録有形文化財)
- ▼ 梁川通り
- ▼ 旧小樽倉庫(運河プラザ)着 **指明北**
- ▼ 中央市場 **炭**

小樽における「炭鉄港」の構成文化財の中に「中央市場」が入っています。意外な気もしますが、小樽にはかつて「ガンガン部隊」と呼ばれた行商の人たちがたくさんいました。ブリキでできた大きな魚箱に朝一番で仕入れた新鮮な魚介類を詰めて背負い、おもに内陸(空知地方)のお得意さんの待つ町に、朝の一番列車で向かったといわれています。「ガンガン部隊」は昭和20年代末～同30年代がピークでした。当時、小樽市内にはたくさんの市場があり、「ガンガン部隊」はそれぞれの市場で仕入れていましたが、小樽駅に近い中央市場には当時の記録が残っていたことで構成文化財となりました。このコースは中央市場や駅横の三角市場に並ぶ魚介、惣菜、飲食店メニューなどを通じて小樽の食文化を研究するコースです。

また近くには、幌内炭が良質であると見抜いた戊辰戦争時、旧幕府軍の総大将榎本武揚が建立したという龍宮神社があります。本殿内には榎本武揚直筆の書も掛けられています。

### 市場めし

豪華な海鮮丼はもちろん、市場で働く人のお手軽価格の食堂もあります。おもち屋さんや惣菜屋さんで小樽の味を体験するのもおススメです。